学生の確保の見通し等を記載した書類

目次

（１）学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況......2
ア　設置又は定員を変更する学科等を設置する大学等の現状把握・分析......2
イ　地域・社会的動向等の現状把握・分析......2
ウ　新設学科等の趣旨目的、教育内容、定員設定等......3
エ　学生確保の見通し......5
オ　学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果......10
（２）人材需要の動向等社会の要請......14
①　人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）......14
②　上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠......15

（１）学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

ア　設置又は定員を変更する学科等を設置する大学等の現状把握・分析

「宝塚医療大学」（以下「本学」という。）は、平成 23（2011）年にこれまでの専修学校教育を発展させ、より高度化、細分化、多様化する医療現場の要望や環境に即した理学療法士、柔道整復師及び鍼灸師の養成を図ることを目的に、兵庫県宝塚市に開設し、1 学部（保健医療学部）3 学科（理学療法学科、柔道整復学科、鍼灸学科）を設置した。

令和 2（2020）年 4 月に和歌山県における高度な知識・技術を持つリハビリテーション専門職の養成及び県内での人材確保を目的として、和歌山県の誘致及び県の業界団体からの要請を受け、和歌山保健医療学部リハビリテーション学科（和歌山県和歌山市）を新たに開設した。また、令和 4（2022）年 4 月には、和歌山保健医療学部に看護学科（和歌山県和歌山市）を新たに開設した。加えて、令和 5（2023）年 4 月に保健医療学部に口腔保健学科を開設する。

本学は、保健医療学部で収容定員 896 名（口腔保健学科は令和 5 年度開設のため学年進行中。896 名は完成年度の収容定員である。）、和歌山保健医療学部で 600 名（リハビリテーション学科は令和 2 年、看護学科は令和 4 年度開設のため、学年進行中。600 名は完成年度の収容定員である。）、合計 1,496 名の小規模大学である。開設以来、小規模大学である特色を活かしての少人数教育や、地域との連携に注力してきた。

保健医療学部の近年 4 年間の入学定員超過の状況は 1.09 倍である。また、和歌山保健医療学部の入学定員の超過状況は 1.04 倍であり、いずれの学部においても、入学定員を適正に確保している。

本学においては、今後も学生の確保に努めると共に、募集力を強化するために新しい学科等の設置計画について計画的に推進している。

この度、本学における医療専門職を養成してきたノウハウを活用し、これからの日本経済発展の牽引車ともいえる観光分野の専門職人材の育成において医療に関する基礎的知識を持った人材が必要不可欠であり、こうした社会の要請に応えるため、「観光学部観光学科」（以下、「本学部」という。）の設置を計画した。

イ　地域・社会的動向等の現状把握・分析

我が国の観光を取り巻く環境は、余暇を重視する「ワーク・ライフ・バランス」の浸透、旅行形態の多様化、国際観光需要の増加（特に所謂インバウンドの増加）などにより著しく変化し、観光立国推進基本法の施行、観光庁の設置、観光立国推進基本計画の策定、など国を挙げての体制整備が行われている。その結果、観光は我が国の基幹産業への発展が期待されるに至っている。

そうした中、日本社会が本格的な人口減少社会に直面することで国内観光需要の減少が懸念されるが、当面増加する高齢者は観光需要の下支えになると期待されている。

超高齢化社会と言われる今、65 歳以上の人口は上昇傾向にあり、令和 4（2022）年

9月には3,627万人で総人口の29.1%に達しているが、国立社会保障・人口問題研究所の推計によると2040年には35.3%まで上昇することが予想されている。こうしたことを背景に、医療の専門知識及び技術を有する人材は、医療や介護・福祉分野に止まらず、様々な分野で活躍の場が広がっており、これまで以上に広範で高度な知識が要求されるようになっている。

特に観光はこうしたニーズが相対的に高い分野と言える。観光において人々は非日常的な環境に身を置くわけであり、旅行中の怪我や病気、持病等への対応など医療に関するリスクは最大の心配事であると言っても過言ではなかろう。観光関係者はそれらのリスクへの第一次的対応に関する知識技術が不可欠である。

また、近年の感染症の度重なる世界的流行は、全ての観光関係者が感染症に関する知識を持ち徹底的に対応することを不可避とした。このことは、現状の感染症の流行が収束したとしても基本的には継続されると思われる。

超高齢化社会は、当然ながら観光客においても高齢者の比率を大幅に拡大することとなる。観光関係者が介護に関する基本的知識と技術を身に着ける必要は増大する。

加えて、人々の健康不安の多様化や増大は、健康増進や老化・疾病予防を目的とするツーリズムなどのニーズの増加に繋がることが予測される。そうした意味でも、観光分野においては医療に関する基礎的知識を持った人材は不可欠であり、そのニーズは今後益々増加されると思われる。

ウ　新設学科等の趣旨目的、教育内容、定員設定等

上述のような社会背景のもと、観光が我が国の基幹産業として発展していくためには、拡大が予想されるインバウンド需要への対応や高サービス化に対応できる付加価値の高い人材の育成が必要である。また、観光の事業環境は社会の変化に影響され大きく変動するため、求められる人材には、時代の趨勢を踏まえた観光専門職として必要な知識・能力に加え、変化する状況に対応できる実践的能力も不可欠である。加えて、前項で述べたように観光関係者は医療に関するリスクへの第一時的対応に関する知識が不可欠であると共に、今般の新型コロナウイルスの流行により、公衆衛生等の知識が必要となった。

本学部は、本学の医療技術分野における経験も活かし、このような観光専門職人材を育成することで観光産業及び地域振興に貢献することを教育研究の目的としている。

①　現状把握・分析を踏まえた課題に対して学部がどのように貢献できるのか

本学部の設置計画は、本学においては初めて保健医療分野以外の学部の設置であるが、全く新しい分野との認識ではなく、これまで本学が取り組んできた医療専門職養成のノウハウを充分に活用出来るものであり、本学における学生募集力強化という課題解決の一助になると考える。また、新たな就職先の開拓、インターンシップをとおした企業・地域との連携、留学制度による海外の大学等との積極的な

交流など、これまでの既存学部では対応出来なかった新たな取り組みを行うことが出来ると考えている。これらをとおして本学の教育研究が一層改善されることが期待できる。

本学部で養成する人材は、現在の我が国の観光業において求められる人材と合致しており、医療の基礎的能力をもち、高いコミュニケーション能力、観光分野に関連する専門的な知識を有する人材への社会的要請は高いと考える。

本学部の設置をもって、観光業の人材確保に貢献すると共に、我が国の産業全体の発展に寄与できるものと考える。

② 定員設定の理由

入学定員の設定にあたっては、18 歳人口の将来推計、近隣競合観光系学部の募集状況、近隣競合校の志願動向と定員充足状況、高校生・外国人留学生を対象とした本学への進学希望アンケート調査の結果など客観的なデータに加え、本学で展開する教育課程や学修環境、インターンシップ等での実施体制なども勘案し 100 名に決定した。

③ 今、本学部を新設しなければならない理由

先に述べたとおり、我が国では「観光は、成長戦略の柱であり地方創生の切り札である」との認識の下、様々な施策が行われている。新型コロナウイルスの感染拡大を受け、観光産業も大きな打撃を受けているが、政府が実施する観光需要喚起策「全国旅行支援」などの支援策からも、なお観光は将来に向けて成長産業と見なされていることは自明と思われる。

一方で、観光業の現場で求められている人材像と既存大学の観光学部で行われている人材養成が必ずしも一致しているとはいえない状況がある。加えて我が国の観光産業の構造から著しい人材不足の状況が続いていることも求人状況などから明らかである。

そこで、今後、富裕層を対象とした観光振興、インバウンド需要への対応が求められていることから、本学部においては、語学能力、情報リテラシー能力、コミュニケーション能力を養う科目、観光学における基礎的な能力、専門的な能力を養う科目等をバランス良く配置し、観光業において求められる人材を養成することを計画した。

これらのことから、本学部の設置は観光業の業界全体の要請に添うものであり、本学部の早期設置が必要であると考える。

④ 本学部の入学金、授業料等の学生納付金の額と設定根拠

本学部の学生納付金は、大学運営の根幹になる財源と考えていることから、設置の意義を踏まえつつ、県内外の近隣競合他大学の状況を参考に設定した。その結果、表 1 に示すとおり近隣競合大学と同等又は若干低い水準とし、初年次学生納付金は 140 万円に設定した。内訳は入学金 30 万円、授業料 110 万円である。これによ

るシミュレーションでは、完成年度には消費収支差額は均衡することが予想され、学生納付金の設定は妥当なものであると考える。

表 1　近隣競合私立大学　学納金比較　（単位：千円）

大学・学部学科名（所在地）	入学金	学生納付金	学生納付金 4 年間合計
宝塚医療大学観光学部観光学科 （1 年次:沖縄県宮古島市、 2 年次以降:兵庫県尼崎市）	300	1,100	4,700
関西国際大学国際コミュニケーション学部 観光学科（兵庫県神戸市）	300	1,159	4,936
阪南大学国際観光学部国際観光学科 （大阪府阪南市）	210	1,080	4,530
平安女学院大学国際観光学部 国際観光学科（京都府京都市）	250	初年次:1,150 2 年次以降:1,260	5,180
大阪観光大学観光学部観光学科 （大阪府泉南郡）	300	1,030	4,420
大阪成蹊大学国際観光学部 国際観光学科（大阪府大阪市）	250	1,160	4,890

エ　学生確保の見通し

A.　学生確保の見通しの調査結果

本学部の設置を検討するにあたり、学生募集におけるニーズを客観的に捉えるため、学外の第三者機関に依頼しアンケート調査を実施した。その概要は以下のとおりである。【資料 1　宝塚医療大学　新設学部設置構想についてのアンケート調査　学生確保の見通しアンケート報告書】

I.　アンケート調査の概要

目　的	宝塚医療大学が令和 6（2024）年 4 月に設置を構想している観光学部観光学科（仮称）について、本アンケート調査により学生確保の見通しを測ることを目的とする。
対　象	①　宝塚医療大学既存学部への志願状況、学力水準および所在地等を踏まえて、調査対象高校 524 件を選定した。アンケート対象者は令和 6（2024）年に大学入試を受験する可能性が最も高い、令和 4（2022）年度現在の高校 2 年生とした。 ②　日本の大学への進学のため日本語を学習している外国人留学生への調査のため、宝塚医療大学留学生別科、日本語学校、及び中国国内で日本語を専攻する高校にて、調査対象 5 件を選定した。アンケート対象者は令和 6（2024）年に大学入学する可能性が高い、令和 4（2022）年度現在、来日 1 年目の別科生、日本語学校生、及び、高校 3 年生（2023 年 6 月卒業務見込み）とした。
時　期	①　令和 4（2022）年 10 月～令和 5（2023）年 2 月 ②　令和 4（2022）年 12 月～令和 5（2023）年 2 月
調査方法	各校の教職員の監督の元で、 ｉ）アンケート用紙と学部学科概要を配布する方式 ⅱ）Web アンケートによる方式 上記から方式をご選択いただき、実施。
調査内容	①　選択肢式の 10 問。 回答者の基本情報（居住地、性別、希望進路）、宝塚医療大学が設置構想中の観光学部観光学科（仮称）への受験・入学意志等。 ②　選択肢式の 7 問。 回答者の基本情報（居住地、性別、希望進路）、宝塚医療大学が設置構想中の観光学部観光学科（仮称）への受験・入学意志等。
回収件数	①　8,577 件 ②　253 件 合計　8,830 件
備　考	上記、①は高校生対象、②は留学生対象

II.　調査のポイント

・高校生を対象とした調査回答の居住地域はキャンパスが所在する近畿地方と九州・沖縄の合計で 83.8%を占め、高校卒業後の希望進路は回答者の 81.6%が「進学」を選択しており、調査対象は適正であると考えられる。

・留学生を対象とした調査回答の、日本語学校等卒業後の希望進路は回答者の 56.1%が「日本で進学」を選択しており、調査対象として適正であると考えられる。

・本学部への受験・入学の意向については、316 人が「受験したい」と回答し、

そのうち強い入学意志を持つと考えられる「入学したい」との回答者が 182 人、入学の可能性がある「併願大学の結果によっては入学したいとの回答者は 126 人であった。

III. アンケート結果から類推される学生確保の見通し

本学部を「受験したい」と回答した者は 316 人であり、入学定員の 100 人の 3 倍を上回っている。さらにその 316 人の入学意向については、強い入学意志を持つと考えられる「入学したい」との回答者は 182 人で入学定員を上回っており、入学を検討する可能性のある「併願の結果によっては入学したい」との回答者も 126 人であった。

入学意向と希望進路のクロス集計結果は下表のとおりとなる。本学部に「入学したい」と回答し 182 人のうち、卒業後の進路を「進学」としている者は 131 人であった。

図 1　受験・入学意欲と希望進路のクロス集計表

<table>
<tr><th>受験意向</th><th>回答件数</th><th>入学意向</th><th>回答件数</th><th>希望進路</th><th>回答件数</th></tr>
<tr><td rowspan="3">受験したい</td><td rowspan="3">316</td><td rowspan="2">入学したい</td><td rowspan="2">182</td><td>進学</td><td>131</td></tr>
<tr><td>上記以外</td><td>51</td></tr>
<tr><td>上記以外</td><td>134</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>上記以外</td><td>8,514</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>

以上の結果、本調査における実施状況から、今回実施していない高校に入学希望者が潜在することなどを勘案すると、後述する積極的な学生募集活動等を前提として、本学部が入学定員を確保することは可能であると考える。

B. 新設学部等の分野の動向

同系統学問分野の志願状況として、本学部同様名称に「観光」を冠する他大学学部学科の一般選抜（一般入試と大学入学共通テスト（旧大学入試センター試験）利用入試を含む）の過去 5 年間の志願者、受験者、合格者および実質倍率（受験者/合格者）を集計した。【資料 2　私立大学 観光系学部学科における一般選抜募集状況】

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた令和 4（2022）年の志願者は、16,429 人で平成 30（2018）年の 22,892 人から 6,463 人の減少となっているが、平成 30

（2018）年から令和２（2021）年までの実質倍率では 3.9 倍から 4.6 倍と安定して志願者を集めている状況にあり、令和４（2022）年においても下がってはいるが、2.2 倍を維持していることから、次年度以降のコロナ後については、志願者回復の可能性は十分に考えられる。

【資料３　観光学部・国際観光学部の志願者・入学者動向】は、日本私立学校振興・共済事業団が公表している、私立大学入学・志願動向の主な学部別の志願者・入学者動向の中の観光学部・国際観光学部について集計したものである。

集計学部数は多くはないが、平成 30（2018）年度から令和４（2022）年度までの状況を見ると、新型コロナウイルス感染症の影響の大きかった令和３（2021）年度から令和４（2022）年度を除くと、令和２（2020）年までは、志願倍率は 8.6 倍から 10.3 倍、入学定員充足率も 100％を超える安定した志願・入学動向にあったと言える。令和３（2021）年以降、入学定員充足率が 100％を下回っているものの、志願倍率は 5.7 倍から 6.5 倍と高い水準を維持しておりコロナ後の学生確保についても安定してくると思われる

C. 中長期的な 18 歳人口の全国的，地域的動向等

【資料４　18 歳人口の将来推計（全国 近畿 沖縄県）】は、学校基本調査をもとにしたリクルート進学総研マーケットリポートの「18 歳人口予測大学・短大・専門学校進学率地元残留率」からの抜粋である。これによると沖縄県の 18 歳人口比率の将来的には上昇している。兵庫県については全国並み、同県を含む近畿地方が全国を若干上回る減少率を示してはいるものの、本学部は教学内容等も踏まえ、観光学科、英語科等の専門学科設置高校などについては、全国的視野での学生獲得活動を展開することからも、一定数の志願者は見込めると考える。

D. 競合校の状況

本学部は１年次を宮古島キャンパス（沖縄県宮古島市）、２～４年次を尼崎キャンパス（兵庫県尼崎市）で学修することとしている。募集対象地域も全国を視野に入れているが、尼崎キャンパスが所在する近畿地方を主要な学生募集地域と位置づけ、同地方に所在し学部学科名称に「観光」を冠する大学を競合校として、入学および収容定員の充足状況を確認した。【資料５　近隣競合大学 入学・在籍状況】

完成年度に満たない学部学科および公表数を学部学科単位で掲出していないところを除くと、入学定員充足率は新型コロナウイルス感染症の影響を受けた令和４（2022）年度においては、大阪観光大学、京都外国語大学を除く私立大学では入学定員を満たしていないが、収容定員充足率については、平安女学院大学を除くすべての私立大学で 1.0 を超えており、周辺地域の同系統分野の大学では安定した学生確保ができていると考えられる。

E. 既設学部等の学生確保の状況

本学が設置している保健医療学部及び和歌山保健医療学部の直近の学生確保の状況は以下のとおりである。

表 2　既設学部等の学生確保の状況

学部名	学科名	項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	入学定員に対する平均比率（過去4年間）	備考
保健医療学部	理学療法学科	志願者数	140	159	109	101		平成29年から定員変更 40人→70人
		合格者数	87	88	84	88		
		入学者数	77	74	64	68	101.07%	
		入学定員	70	70	70	70		
		入学定員充足率	110.00%	105.71%	91.43%	97.14%		
		在籍学生数	249	272	280	256		
		収容定員	280	280	280	280		
		収容定員充足率	88.93%	97.14%	100.00%	91.43%		
	柔道整復学科	志願者数	79	97	84	67		
		合格者数	74	79	75	65		
		入学者数	72	77	73	58	116.67%	
		入学定員	60	60	60	60		
		入学定員充足率	120.00%	128.33%	121.67%	96.67%		
		在籍学生数	216	233	260	246		
		収容定員	240	240	240	240		
		収容定員充足率	90.00%	97.08%	108.33%	102.50%		
	鍼灸学科	志願者数	39	41	28	48		平成29年から定員変更 60人→30人
		合格者数	39	40	26	47		
		入学者数	35	35	25	39	111.67%	
		入学定員	30	30	30	30		
		入学定員充足率	116.67%	116.67%	83.33%	130.00%		
		在籍学生数	102	106	105	112		
		収容定員	120	120	120	120		
		収容定員充足率	85.00%	88.33%	87.50%	93.33%		
和歌山保健医療学部	リハビリテーション学科	志願者数	－	121	137	179		令和2年4月開設
		合格者数	－	113	119	128		
		入学者数	－	102	101	107	103.33%	
		入学定員	－	100	100	100		
		入学定員充足率	－	102.00%	101.00%	107.00%		
		在籍学生数	－	102	201	298		
		収容定員	－	100	200	300		
		収容定員充足率	－	102.00%	102.00%	99.33%		
	看護学科	志願者数	－	－	－	147		令和4年4月開設
		合格者数	－	－	－	73		
		入学者数	－	－	－	56	112.00%	
		入学定員	－	－	－	50		
		入学定員充足率	－	－	－	112.00%		
		在籍学生数	－	－	－	56		
		収容定員	－	－	－	50		
		収容定員充足率	－	－	－	112.00%		
大学合計		志願者数	258	418	358	542		
		合格者数	200	320	304	401		
		入学者数	184	288	263	328	108.18%	
		入学定員	160	260	260	310		
		入学定員充足率	115.00%	110.77%	101.15%	105.81%		
		在籍学生数	567	713	846	968		
		収容定員	640	740	840	990		
		収容定員充足率	88.59%	96.35%	100.71%	97.78%		

本学では、入学生確保の状況等を鑑み、平成 29 年度に、保健医療学部理学療法学科と鍼灸学科の入学定員を改めた。

継続して適切な入学生の確保に努めた結果、直近 4 年間の学生募集はいずれの学科においてもほぼ入学定員を確保している状況である。

令和 4（2022）年 4 月現在の大学全体の収容定員に対する学生数も 0.98 倍となっており、学年進行中の和歌山保健医療学部を含め、教育環境に対して適切な学生数であると判断している。

オ　学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

宝塚医療大学のこれまでの取り組みについて述べるとともに、本学部についても、既存学部の取組を踏襲しつつ新たな取り組みを行う。

本学では学生確保に向け、広報委員会・入学試験委員会(両委員会とも事務職員も委員として参加)と連携しながら、入試課が中心となり様々な取り組みを行っている。広報委員会において、学生募集業務及び各種広報企画を策定して教員と連携しながら取り組んでいく体制が構築されている。この体制により、「オープンキャンパス」「高校ガイダンス（出前講義）」「高校訪問」「進学説明会」等の学生募集活動及び入学試験業務を教職協働で連携し取り組んでいる。現在本学は宝塚と和歌山の 2 つのキャンパスにそれぞれ 1 学部ずつ置かれているが、広報活動はそれぞれの地域の特性を考慮し、独自に行っている。

今回設置を計画している観光学部観光学科（仮称）は本学では初めての医療系以外の学部であり、キャンパスも 1 年次は沖縄県宮古島市、2 年次以降は兵庫県尼崎市を予定しているため広報委員会・入学試験委員会で協議し入試課が中心となった広報活動を行うには変わりは無いが、活動の内容は、観光学部独自のものとなる。

本学部の学生確保にあたり、設置の理念・育成する人物像、学習内容等を大学案内、各種説明会、媒体などを活用して説明する。併せて観光分野の就職先などについても後述の広報手段を通じて分かりやすく伝えていく。

特に宮古島キャンパスでの学びについては、人口 55,000 人余りの市に空港が二つもあり、豊かな自然環境、気候風土などを有する日本有数の観光地であり、観光を将来の進路として考えている受験生にとっては魅力的なエリアであると本学では自負している。その宮古島で全寮制による（宮古島出身者は除く）集中的な授業を行うことは本学部の大きな特徴であり、魅力である。それを受験生に伝える手段としては、すばらしい景色や宮古島の人々が島で初めての高等教育機関に本学部の 1 年生を迎えることを期待してくださっていることが伝わるようなメッセージなど、インターネットを利用した動画などを通じて伝えていく。また宮古島で学ぶ宮古島ならではの科目の担当教員にも動画に登場の上、受験生に宮古島の文化や産業のすばらしさの一部を紹介していただく。

尼崎キャンパスについても、関西国際空港、大阪国際空港、神戸空港と3つの空港への便も良く、阪神電車本線の駅からも徒歩 7 分と便利であり、尼崎市も観光に力を入れていることもあり、観光を学ぶにあたって最適の立地であることを高校訪問並びに媒体を通して本学部の魅力として受験生に伝えていく。

主な取り組み状況は、以下のとおりである。

① オープンキャンパス

毎年、各高等学校のイベントや競合大学のスケジュールを鑑みた上で、本学が求める志願者が幅広く参加できるよう日程を調整し、内容においても開催時期ごとにテーマを設け、本学の認知向上とともに各学問領域への興味を喚起するものとなっている。令和4（2022）年度は保健医療学部では11回、和歌山保健医療学部では9回、開催した。具体的には、「各学科紹介」「実技体験授業」「模擬講義」「入学試験説明」「在学生によるフリートーク」に加え、「保護者のための進学説明会」を実施し、高校生だけでなく保護者への情報提供にも注力している。

また、参加高校生等から身近なお兄さん、お姉さん的存在として評価の高い本学学生有志による広報隊を平成28（2016）年度より結成し、オープンキャンパスにおいて、受付、誘導、来場者対応、キャンパスツアー及び個別対応など、オープンキャンパス全体に参加している。令和4(2022)年度は宝塚キャンパスでは60人、和歌山キャンパスでは25人が広報隊としてオープンキャンパスに参加した。学生有志の参加意識も高く来場者アンケートにおいても非常に評価が高い。

表 3 オープンキャンパス参加状況（過去 4 年間） （単位：人）

	令和元（2019）年度	令和2（2020）年度	令和3（2021）年度	令和4（2022）年度
保健医療学部	1,217	622	770	852
和歌山保健医療学部	476	440	745	796

令和2(2020）年度の参加者数は保健医療学部（宝塚キャンパス）で大きく減少した。これは、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う開催自粛や、近隣府県からの参加者が大きく減少したことによると分析している。令和3（2021）年度も引き続きオープンキャンパスへの来場者確保には苦慮したが、時間の短縮、一部オンラインで開催する、検温・手指消毒の徹底及び施設の清拭など参加者、学生、教職員の安全に充分に配慮しながら開催した。

その結果、令和3（2021）年度、令和4（2022）年度は、保健医療学部においては、参加者数が回復傾向となった。和歌山保健医療学部においては、令和4(2022)年度から新たに看護学科を開設することも好材料となり、参加者が増加している。

本学部においては、学生募集範囲を全国と考えており、またキャンパスが宮古島と尼崎に分かれることから、オンラインでのオープンキャンパスや進学相談など、遠方に居住する学生が参加出来る方策も検討する。他学部とは対象となる高校生

の興味分野が異なるため、独自のオープンキャンパスの開催を予定しているが、既存学部のオープンキャンパスにおいてもコーナーを設け告知する。

日程については高校生が幅広く参加できる日程を調整し、内容においてもカリキュラムで分けている観光の 4 分野ごとに興味を持って参加できるように企画している。

最近のオープンキャンパスの傾向として保護者の同伴が多いということがあるが、特に本学部の場合、2 キャンパスでの学びなど生活、経済面などで保護者の関心が高くなることが予想されるため、保護者に対する丁寧な説明ができるような工夫をする。また、1 年次は全寮制（宮古島出身者以外）を基本とする為、高校 3 年生だけを対象とするのではなく、早い時点で興味をもってもらい、じっくりと進路を考えてもらえるように 1、2 年次の生徒たちにも説明できる機会を持つ。開催場所としては宮古島キャンパスでも実施すると共に、2 年次以降に授業をする尼崎キャンパスがある阪神地域を中心に行う。

② 受験雑誌・進学サイト等への告知広告

毎年広告効果の分析を行いながら、既存の掲載情報に加え新企画への掲載・新規媒体への出稿を順次実施する。近年は、ホームページの充実に努め受験雑誌などの媒体への出稿は効果を検証しながら精選して行っている。掲載時期・媒体ごとに出稿する文言や表現を適切に調整し、一貫性を持たせながらも様々な角度から学生に訴求できる体制を整えている。また、対象については受験生を中心にしながら保護者や高校教員向けに拡げ、認知への充実を図っている。

本学への資料請求数（表 4）は、令和 2 年度をピークに減少傾向にある。これは、近年の受験傾向の早期化、学校推薦型選抜や総合型選抜による入学者の増加などにより、受験校数を絞る傾向にあることが影響していると考えるが、入学定員に対し十分な資料請求数と考えている。

表 4　本学への資料請求件数（過去 4 年間）　（単位：件）

	令和元（2019）年度	令和 2（2020）年度	令和 3（2021）年度	令和 4（2022）年度
資料請求数	5,383	6,333	5,048	5,006

③ 高校ガイダンス・出前講義

本学の通学圏内として見込めるエリアを中心に、年間を通して高校ガイダンス・出前講義を実施している（表 5）。

実施分野を限定し、医療・福祉関連への興味関心の高い生徒との接点を増やすと同時に、対象者を意識したパンフレットを作成して周知をしている。また、高校訪問等を通じて関係が密接になりつつある、中国・九州地区での高校ガイダンスにも積極的に参加するよう努めている。現在、和歌山県の高校からの要望には特に積極的に参加している。

本学部の会場進学相談会については、既存学部とは違った進路希望を持つ受験生が対象となるため、既存学部とは別途、宮古島市内、阪神間で開催の相談会を中心に参加を予定している。

高校内ガイダンスについては、観光のコースを持つ高校、英語教育に力を入れている高校を重点的に会場進学相談会と同様、宮古島市、阪神間の高校を中心に参加の予定をしている。

表 5　高校ガイダンス・出前講義参加実績（過去 4 年間）

	令和元 （2019）年度	令和 2 （2020）年度	令和 3 （2021）年度	令和 4 （2022）年度
高校ガイダンス 出前講義 参加実績	延べ 45 会場 410 人と接触	延べ 50 会場 508 人と接触	延べ 190 会場 2,597 人と接触	延べ 180 会場 1,791 人と接触

④　高校訪問

高校訪問は、募集戦略の肝と考えており、安全に配慮しながら積極的に展開している。訪問目的と必要性を吟味し、訪問対象校や訪問時期・訪問回数・提案内容・接触者を精査しながら、本学の認知を高めることで当該分野に興味のある生徒の獲得を狙うとともに、地元志向も高まっていることから、地元校との連携を踏まえ、高大接続の機会を増やすよう努めている。

高校訪問数（表 6）は、過去 4 年間確実に増加させている。（580 校→752 校→863 校→937 校）　特に令和 4（2022）年度は、入学試験制度改編の周知と和歌山保健医療学部の学生募集強化を主眼として訪問頻度を上げた。

表 6　高校訪問実績（過去 4 年間）

	令和元 （2019）年度	令和 2 （2020）年度	令和 3 （2021）年度	令和 4 （2022）年度
高校訪問数	580 校	752 校	863 校	937 校

本学部においては、これまでの本学既存学科での高校訪問の方針を刷新し、観光に関する学科を設置している高等学校をはじめ、英語教育に力を入れている高等学校にも活動範囲を広める必要があると考える。また、【資料 6　宮古島市への修学旅行申し込み高等学校一覧】に示すよう、修学旅行で宮古島を訪問している高等学校など、宮古島に縁がある全国の高等学校へのアプローチを計画している。

併せて観光業が日本の基幹産業となっている現状の説明を行って、高等学校教員より受験生に告知してもらい本学部の認知度を高め、当該分野に関心のある生徒の獲得を目指す。

⑤　本学 WEB サイト

本学 WEB サイト（ホームページ）に本学部設置の案内ページを開設し、既存サイトとの差別化を図り興味を促すとともに、日々更新される最新情報を滞りなく

発信するツールとして活用することを計画している。

近畿圏だけではなく、実際に本学に来校することが容易ではない全国の生徒や保護者に対しても即時的に情報を提供する。さらに、ブログや SNS（Social Networking Service）を活用（LINE、Twitter、Instagram で情報を発信。）し、大学からの情報発信を活発に行い、大学の中身を積極的に伝えている。

ホームページは、令和 3(2021)年度から技術的にレシポンシブ対応、CMS 対応等の機能を施し、大幅なリニューアルを実施した。今後はこれに加えて、情報コンテンツを充実させることにより、発信力を高め、大学認知度を向上させていく。またホームページに組み込まれているブログ更新については、各学科持ち回りで担当し、更新頻度を格段に高め、キャンパスの躍動感をより鮮明に発信していく。

また、令和 3（2021）年度からは、本学 Web ページにおいて、Web 出願（Web 上で本学への入学出願書類のダウンロード・提出を受け付けるシステム。）を開始している。本学部においても Web 出願を導入し、受験生の利便性向上を図っている。

本学ホームページへのアクセス数（表 7）は、過去 4 年間安定したアクセス数となっている。今後もホームページの充実を図り、情報発信能力の向上に努める。

表 7　本学ホームページ訪問者数（過去 4 年間）

	令和元 （2019）年度	令和 2 （2020）年度	令和 3 （2021）年度	令和 4 （2022）年度
閲覧者数	625,425 件	658,824 件	630,101 件	648,891 件

⑥　教員対象入試説明会

本学では高校教員対象の説明会を毎年 5 月に高校進路指導担当者向けに本学で行っていることから、新学部においても開催を予定している。

1 年次のキャンパスのある宮古島市には高等学校が 3 校のみで、本学については何度も高校訪問を重ね、理解を得ているため特に開催しない。2 年次以降のキャンパスのある阪神間では高等学校が多いため、兵庫県、大阪府、京都府、滋賀県などの高等学校の先生方を対象に大学本部（宝塚市）での開催を予定している。

また、入学希望動向で和歌山県の高等学校からの希望者が多かったことから、本学和歌山キャンパスでの開催も予定している。

（２）人材需要の動向等社会の要請

①人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

今日の日本社会では、超高齢化と新型コロナウイルスなど様々な健康不安に人々が苛まれており、医療・介護の知識を持った人材が従来関連の薄いと思われていた様々の分野で必要とされている。非日常に身を置く観光はこうしたニーズが相対的に高い分野であり、観光関係者は怪我や病気、持病など旅行中の健康上のリスクへの第一時的対

応のための知識技術が不可欠である。

こうした社会背景のもと、観光が我が国の基幹産業として発展していくためには、拡大が予想されるインバウンド需要への対応や高サービス化に対応できる付加価値の高い人材の育成が必要である。また、観光の事業環境は社会の変化に影響され大きく変動するため、求められる人材には、時代の趨勢を踏まえた観光専門職として必要な知識・能力に加え、変化する状況に対応できる実践的能力も不可欠である。

本学部は、本学の医療技術分野における経験も活かし、このような観光専門職人材を育成することで観光産業及び地域振興に貢献することを教育研究の目的としている

以上の目的を踏まえ、本学部で養成する人材像は以下の四つの能力・知識を修得している者とする。

- 国や地域、文化等、あらゆる背景を持った多様な人々に対する高いコミュニケーション能力
- 日常業務で求められる観光分野に関連する専門的な知識
- 観光分野でこれから益々重要となる医療及び介護に関する知識
- 時代の趨勢を踏まえ変化する状況に対応できる能力

② 上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

ア　日本の観光産業の現状

我が国では、「観光は、成長戦略の柱であり地方創生の切り札である」との認識の下、平成 28（2016）年 3 月に策定された「明日の日本を支える観光ビジョン」において、３つの視点を柱とした 10 の改革がまとめられ、これを背景に観光消費額の 8 割を占める日本人国内旅行の振興に加え、近年成長著しいインバウンドを取り込むことによって、観光立国の実現に取り組んできた。

上記状況下において、観光業界における人手不足は深刻な状況にあった。厚生労働省の職業安定業務統計により宿泊業の新規求人数の推移【資料 7　宿泊業の新規求人数の推移（令和元年度 観光白書 P86 図表Ⅱ-33)】を確認すると、平成 26（2014）年から平成 30（2018）年の 4 年間に 16.4 万人から 19.4 万人へ 18.9％増加している。

また観光庁の令和 3（2021）年度「地域における観光産業の実務人材確保・育成事業」の事業概要資料【資料 8　令和 3 年度 地域における観光産業の実務人材確保・育成事業（事業概要資料抜粋）国土交通省観光庁】では、課題と現状として令和元（2019）年度の各調査の結果から、宿泊業の約 8 割の企業が人手不足に陥っており、有効求人倍率も年々増加し、全産業に比べ 3 倍近くとなっていることが指摘されている。

今般の新型コロナウイルス感染症の発生・拡大は、インバウンドの減少だけでなく、国内の観光産業にも深刻な影響を与えることとなったが、令和 2（2020）年度版の観光白書では、日本人国内旅行の振興が地域経済の発展に極めて重要であるとし、一方でイ

ンバウンドは成長著しく引き続き重要な分野であるとしており、新型コロナウイルスの感染状況が落ちつき次第、観光需要の喚起を図っていくとしている。

日本信託投資銀行と日本交通公社が公表した「DBJ・JTB　アジア・欧米豪訪日外国人旅行者の意向調査」（2020 年 8 月）でも、日本は新型コロナ終息後に旅行したい国・地域としてアジアではトップ、欧米豪でも 2 位となっており【資料 9　新型コロナ終息後に観光旅行したい国・地域（DBJ・JTB　アジア・欧米豪訪日外国人旅行者の意向調査 2020 年 8 月）】、今後もインバウンドの増加が期待できるとしている。また、令和 3 年の観光白書の「令和 3 年に講じようとする施策」においても、新型コロナウイルス感染症拡大以降も、我が国の魅力ある観光資源をフル活用し国内観光客による地域の魅力の再発見や単価向上・長期滞在を実現するとしている。さらにインバウンドの段階的復活に向けた取組みを推進し、観光は成長戦略の柱、地方創生の切り札であるとして、2030 年 6,000 万人等の目標達成に取り組み、官民一丸となって観光立国を実現することを謳っている。このように本学部の卒業後の主な進路である観光関連産業が、今後も我が国において基幹産業として位置づけられることは、高校生にとっても進路選択時の興味関心度のアップに関わる要因にもなると考えられる。こうした背景から長期的にも一定数の学生獲得は見込めると思われる。

さらに内閣官房が進める就職氷河期世代支援プログラムの関連予算における国土交通省資料の「令和 4 年度 ポストコロナ時代を支える人材の確保・活用」【資料 10　令和 4 年度 ポストコロナ時代を支える人材の確保・活用（令和 4 年度予定額　就職氷河期世代支援関連予算　国土交通省抜粋）】でも、観光産業に関わる人材が不足しており、人手不足が深刻な状況であること、ポストコロナを見据え、観光需要の回復に備えるためにも、人材の確保・活用が重要とされている。これらのことから、今後も観光業界における人材需要は高い水準であることが予測される。

イ 求められる人材

観光庁はこれまでも、先の「明日の日本を支える観光ビジョン」に基づく改革の一環として産業界のニーズを踏まえた人材育成に取り組んできた。その中で大学は、地域観光の中核を担う人材育成を担ってきたが、大学の提供している教育が観光業界に求めている教育内容とうまく適合していないということが、観光庁が開催した観光教育に関する専門委員会の中で明らかになった。

今後、富裕層を対象とした観光振興を目的とするのであれば、語学や IT、観光分野に関する専門的知識に加え、人々の生活が織りなされている現実の社会について幅広く学び、どのような分野における知識にも通じ、それをサービスの提供に効果的に織り込んでいける対応力の高い「コンシェルジュ型人材」が必要になると考えられる。本学部はこの点において社会を構成する諸領域について幅広く学ばせるカリキュラムを構築しており、育成する人材へのニーズは高いと考えられる。また情報リテラシー科目、

AI に関する科目も重視し、オンラインツーリズムなど、近年の情報通信技術の急速な発展による事業形態の変化への対応も重視している。

また、前述の通り、今日の日本では超高齢化社会と様々な健康不安により、様々な分野で医療・介護に関する知識を持った人材の必要性が高まっており、求められる知識もより高度で広範囲なものとなっている。観光はこうしたニーズが相対的に高く、観光関係者には医療リスク対応への知識・技術が不可欠であり、観光客の高齢化に伴い介護関連の基本的知識・技術を身につける必要は増大し、加えて健康増進や疾病予防を目的としたツーリズムなどのニーズも増加することが予測される。それらの点からも観光分野において医療に関する専門的知識を持った人材へのニーズは、今後益々拡大すると思われ、本学がこれまで取り組んできた医療技術者育成のノウハウを活かし育成する人材の社会的需要は高いと考えられる。

ウ　第三者機関による人材需要の見通し調査結果の概要

本学部卒業生のニーズを客観的に捉えるため、就職が想定される業種の事業所を対象に人材需要の見通し調査を第三者機関に依頼し、アンケートによる調査を実施した。【資料 11　宝塚医療大学　新設学部設置構想についてのアンケート調査　人材需要の見通しアンケート報告書】調査概要は以下のとおりである。

I. アンケート調査の概要

目　　的	宝塚医療大学が令和 6（2024）年 4 月に設置を構想している観光学部観光学科（仮称）について、本アンケート調査より人材需要の見通しを測ることを目的とする。
対　　象	近隣県を対象として、宝塚医療大学観光学部観光学科（仮称）を卒業後に採用が想定される企業・施設等の 2,248 件に調査を依頼した。
時　　期	令和 4（2022）年 10 月～12 月
調査方法	調査対象先の採用担当者あてに依頼状・アンケート調査用紙・学部学科概要・返送用封筒を送付し、調査を実施した。
調査内容	主に選択肢式の 13 問。※一部記述あり 回答元の基本情報（所在地、種別、勤務人数等）、宝塚医療大学観光学部観光学科（仮称）の卒業生に対する採用意向等。
回収件数	310 件

II. 調査のポイント

・ 新卒採用時に求める能力（複数回答可）については、コミュニケーション能力が 280 件（90.0%）と最も多かった。本学部では養成する人材像の必須能力として「国や地域、文化等、あらゆる背景を持った多様な人々に対する高いコミュニケーション能力」を掲げ、これを身につけるための科目をカリキュラムの中核としている。

・ 本学部に設置する専門分野としての必要性については、必要性があるとする回答（「とても必要だと思う」と「ある程度必要だと思う」の合計）が、ヘルスツーリズム（83.9%）、地域経営(観光)（95.8%）、ホテル・ブライダル（72.6%）エアライン（59.0%）、となっており、事業所が各専門分野について今後の社会について必要な学問分野であるとした。
・ 本学部卒業生を「採用したい」と回答した事業所は 166 ヶ所（53.5%）で、具体的な採用人数回答の合計は 513 人となった。

III. アンケート結果から類推される人材需要の見通し

本学部の卒業生の採用意向については、「採用したい」とした事業所数だけでも 166 ヶ所（53.5%）となっており、本学部の定員 100 人を大きく上回る事業所が採用の意向を示す結果となった。また「わからない」との回答は 134 ヶ所（43.2.%）であった。さらに「採用したい」と回答した 166 ヶ所から示された具体的な採用可能人数の合計だけでも 513 人となり、本学部の定員 100 人の 5 倍を上回る結果となっている。

以上の結果および本調査の回収率等も勘案すると、本学部卒業生の人材需要については十分なものがあると考えられる。

以上

学生の確保の見通し等を記載した書類
資料目次

資料 1　宝塚医療大学　新設学部設置構想についてのアンケート調査　学生確保の見通しアンケート報告書

資料 2　私立大学 観光系学部学科における一般選抜募集状況

資料 3　観光学部、国際観光学部の志願者・入学者動向

資料 4　18 歳人口の将来推計（全国 近畿 沖縄県）

資料 5　近隣競合大学 入学・在籍状況

資料 6　宮古島市への修学旅行申し込み高等学校一覧

資料 7　宿泊業の新規求人数の推移（令和元年度 観光白書 P86 図表Ⅱ-33）

資料 8　令和 3 年度 地域における観光産業の実務人材確保・育成事業（事業概要資料抜粋）国土交通省観光庁

資料 9　新型コロナ終息後に観光旅行したい国・地域（DBJ・JTB　アジア・欧米豪訪日外国人旅行者の意向調査 2020 年 8 月）

資料 10　令和 4 年度 ポストコロナ時代を支える人材の確保・活用（令和 4 年度予定額就職氷河期世代支援関連予算　国土交通省抜粋）

資料 11　宝塚医療大学　新設学部設置構想についてのアンケート調査　人材需要の見通しアンケート報告書

【資料1：宝塚医療大学　新設学部設置構想についてのアンケート調査
　学生確保の見通しアンケート　報告書】

宝塚医療大学　御中

宝塚医療大学　新設学部設置構想についてのアンケート調査

学生確保の見通しアンケート　ご報告書

令和5年2月24日

株式会社高等教育総合研究所

目　次

設置構想についてのアンケート調査概要 3
学生確保の見通しについての考察 4
①高校生アンケート調査結果について 5
①高校生アンケート全体集計結果 11
【資料】アンケート調査用紙 14
【資料】WEB アンケート調査 17
【資料】学部学科概要 23
②留学生アンケート調査結果について 26
②留学アンケート全体集計結果 30
【資料】アンケート調査用紙 32
【資料】学部学科概要 35

設置構想についてのアンケート調査概要

目　　　的	宝塚医療大学が令和 6（2024）年 4 月に設置を構想している観光学部観光学科（仮称）（以下の別表１）について、本アンケート調査により学生確保の見通しを測ることを目的とする。
対　　　象	①　宝塚医療大学既存学部への志願状況、学力水準および所在地等を踏まえて、調査対象高校 524 件を選定した。アンケート対象者は令和 6（2024）年に大学入試を受験する可能性が最も高い、令和 4（2022）年度現在の高校 2 年生とした。 ②日本の大学への進学のため日本語を学習している外国人留学生への調査のため、宝塚医療大学留学生別科、日本語学校、及び中国国内で日本語を専攻する高校にて、調査対象 5 件を選定した。アンケート対象者は令和 6（2024）年に大学入学する可能性が高い、令和 4（2022）年度現在、来日 1 年目の別科生、日本語学校生、及び、高校 3 年生（2023 年 6 月卒業務見込み）とした。
時　　　期	①令和 4（2022）年 10 月～令和 5（2023）年 2 月 ②令和 4（2022）年 12 月～令和 5（2023）年 2 月
調 査 方 法	各校の教職員の監督の元で、 ｉ）アンケート用紙と学部学科概要を配布する方式 ⅱ）Web アンケートによる方式 上記から方式をご選択いただき、実施。
調 査 内 容	①選択肢式の 10 問。 回答者の基本情報（居住地、性別、希望進路）、宝塚医療大学が設置構想中の観光学部観光学科（仮称）への受験・入学意志等。 ②選択肢式の 7 問。 回答者の基本情報（居住地、性別、希望進路）、宝塚医療大学が設置構想中の観光学部観光学科（仮称）への受験・入学意志等。
回 収 件 数	①　8,577 件 ②　253 件 合計　8,830 件

学生確保の見通しについての考察

宝塚医療大学が設置を構想する観光学部観光学科（仮称）の学生確保の見通しを測るため、国内の高校 2 年生（以下、対象①）と日本語別科、日本語学校等の学生（以下、対象②）にアンケートを実施し、合計 8,830 件の回答を得た。

観光学部観光学科（仮称）への受験意向を聞いたところ、「受験したい」と回答したのは、対象①187 件、対象②129 件であった。合計すると 316 件が観光学部観光学科（仮称）へ受験意欲を示した。この 316 件に対し、観光学部観光学科（仮称）を受験し、合格した場合の入学意向を質問したところ、「入学したい」が対象①87 件、対象②95 件であり、入学意欲を示した回答を合計すると 182 件であった。

また、対象①と対象②ともに、高校卒業後の希望進路を「進学」と選択した回答と受験・入学意欲をクロス集計すると以下の通りである。

希望進路で「進学」または「日本で進学」を選択し、「受験したい」かつ「合格した場合、入学したい」のクロス集計結果は対象①72 件、対象②59 件であり、合計すると 131 人である。

［1］受験・入学意欲と希望進路のクロス集計表

<table>
<tr><th>受験意向</th><th>回答件数</th><th>入学意向</th><th>回答件数</th><th>希望進路</th><th>回答件数</th></tr>
<tr><td rowspan="3">受験したい</td><td rowspan="3">316</td><td rowspan="2">入学したい</td><td rowspan="2">182</td><td>進学</td><td>131</td></tr>
<tr><td>上記以外</td><td>51</td></tr>
<tr><td>上記以外</td><td>134</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>上記以外</td><td>8,514</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>

以上の結果より、宝塚医療大学が令和 6（2024）年 4 月に設置構想する観光学部観光学科（仮称）の予定する入学定員（100 名）を上回る結果となっている。

本調査における国内での実施状況から、今回実施していない高校に入学希望者が潜在することなどを勘案すると、観光学部観光学科（仮称）の学生確保の見通しについては、積極的な学生募集活動を前提として、可能であると考えられる。

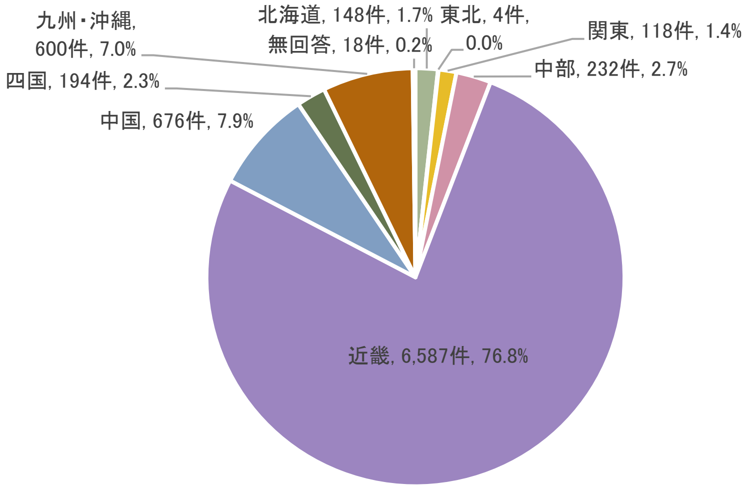
①高校生アンケート調査結果について

①	回答者の基本情報（居住地、性別）-問１、問２

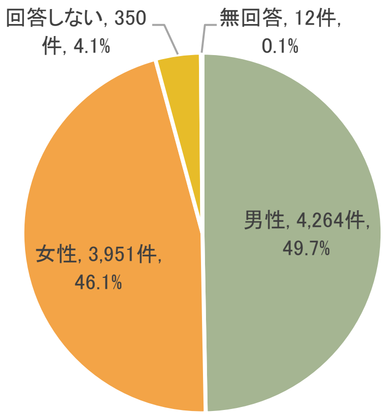
回答者の居住地は、宝塚医療大学の所在地である兵庫県を含む「近畿」地方が 6,587 件で最も多かった。また、観光学部観光学科（仮称）の宮古島キャンパスが所在する沖縄県を含む「九州・沖縄地方」では 600 件である。

回答者の性別は、「男性」が 4,264 件、「女性」が 3,951 件、「回答しない」が 350 件であった。

居住地



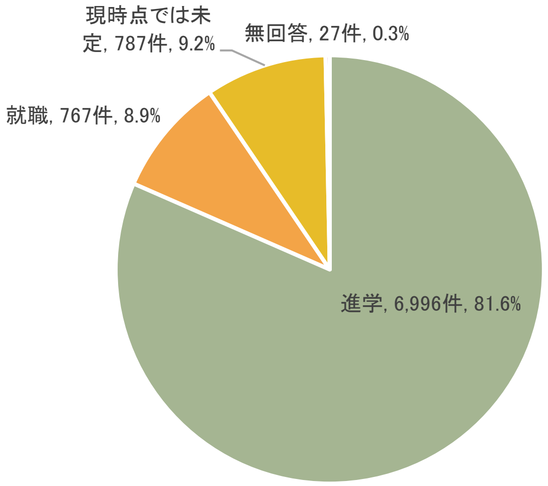
性別



② 回答者の希望進路-問３

回答者が高校卒業後に希望する進路は、「進学」が 6,996 件で最も多く 8 割以上を占めている。「就職」が 767 件、「現時点では未定」が 787 件であった。

希望進路

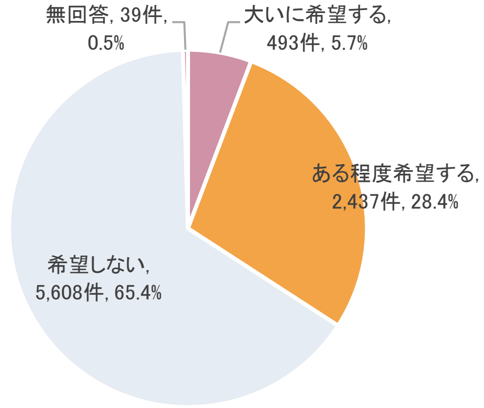


③	国際的なレベルで活動すること、データサイエンスや AI 学習への興味-問４、５

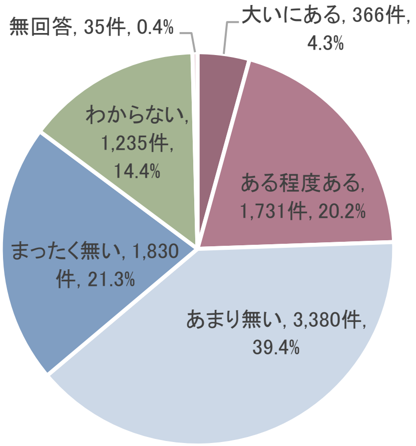
大学卒業後に国内外で英語を使うなど、国際的なレベルで活動することを希望するかを質問したところ、「大いに希望する」が 493 件、「ある程度希望する」が 2,437 件であった。回答者の 30%以上が、大学卒業後に国際的なレベルで活動することを希望していることが分かる。

データサイエンスや AI に関する学習に興味があるかについては「大いにある」が 366 件、「ある程度ある」が 1,731 件であり、全体の 24.5%がデータサイエンスや AI に関する学習に興味を示す結果となった。

国際的なレベルで活動することを希望するか



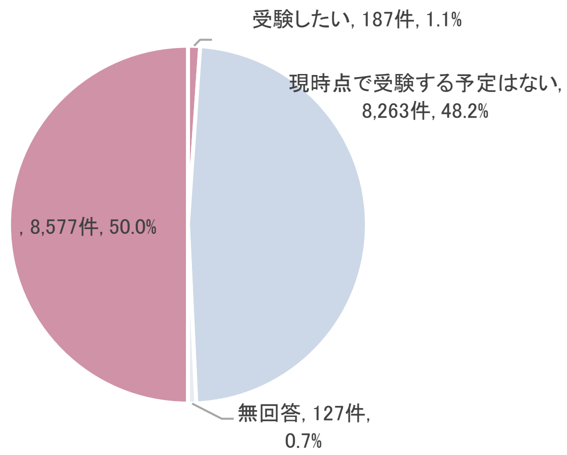
データサイエンスや AI に関する学習に興味があるか



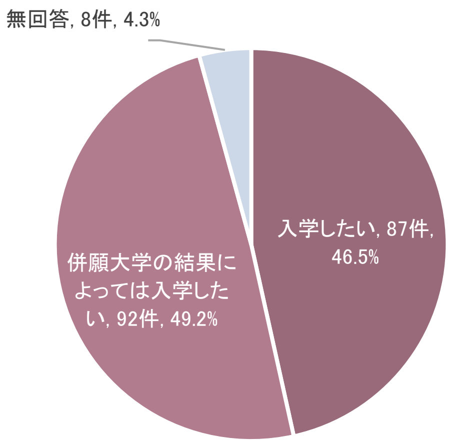
④	観光学部観光学科（仮称）への受験、入学意向-問 6、7

宝塚医療大学観光学部観光学科（仮称）への受験意向を質問したところ、「受験したい」が 187 件であった。この 187 件に対し、観光学部観光学科（仮称）を受験し、合格した場合の入学意向を質問したところ、「入学したい」が 87 件、「併願大学の結果によっては入学したい」が 92 件であった。

受験意向



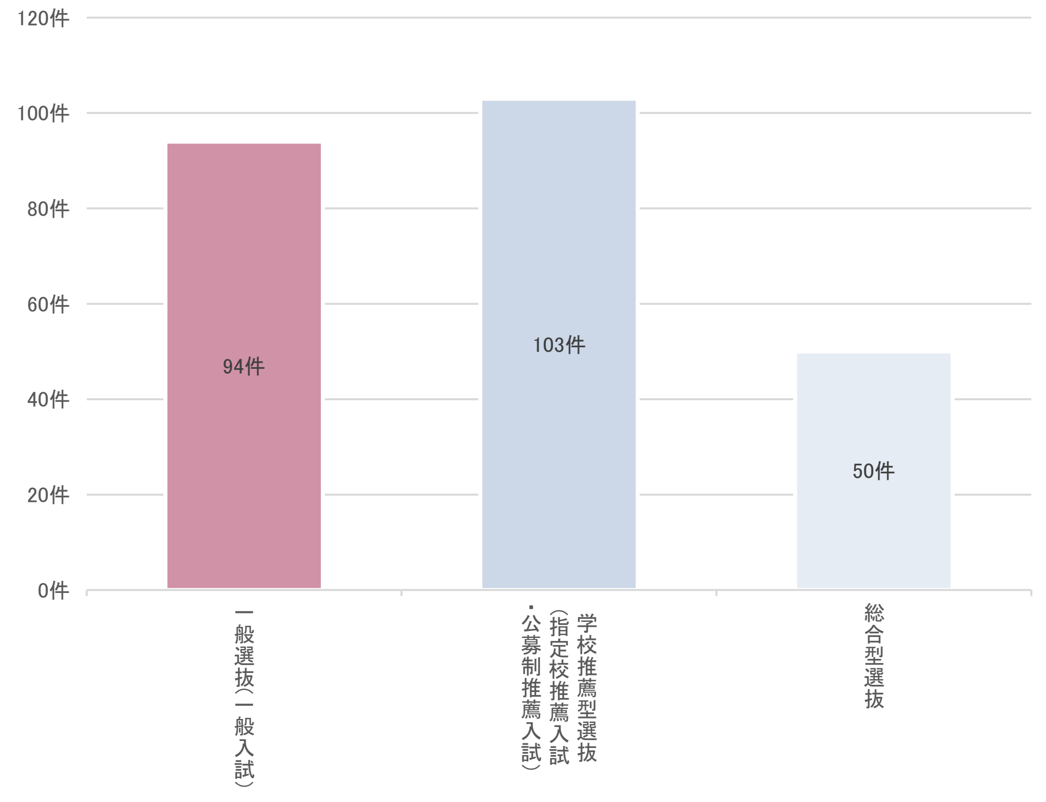
入学意向



⑤ 受験の際に利用したい入試方法―問８

問６で「受験したい」を選択した 187 件に対し、受験の際に利用したい入試方法を質問したところ、「学校推薦型選抜（指定校推薦入試・公募制推薦入試）」が 103 件で最も多く、「一般選抜（一般入試）」が 94 件、「総合型選抜」が 50 件であった。（複数回答可）

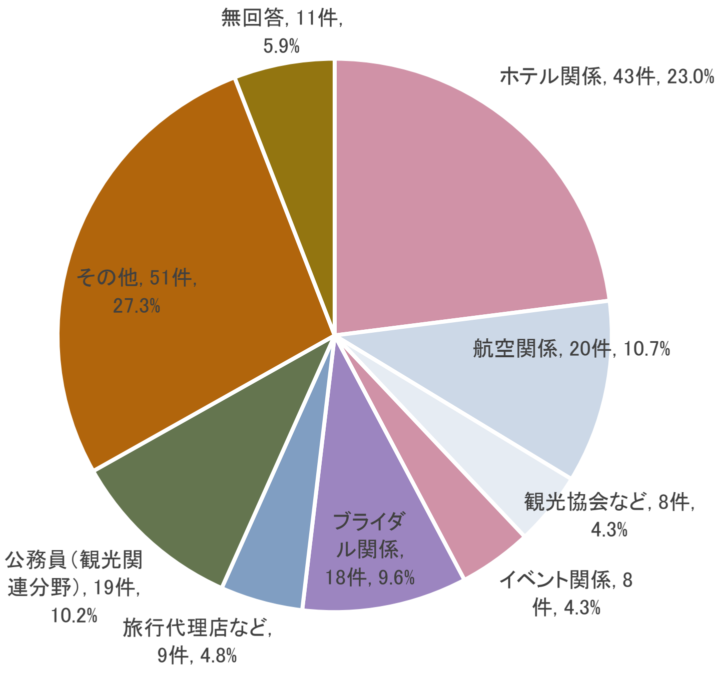
利用したい入試方法



⑥ 大学卒業後の進路―問９

問６で「受験したい」を選択した 187 件に対し、大学卒業後の進路について、現時点で興味のある業種について質問したところ、最も多かったのが「その他」が 51 件であった。次いで、「ホテル関係」が 43 件、「航空関係」が 20 件であった。

大学卒業後の進路



①高校生アンケート全体集計結果

※パーセンテージはいずれも、小数点第２位を四捨五入し記載。

問1　現在お住まいの地域(寮生等の場合は出身地域)をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

選択肢	件数	構成比
北海道	148	1.7%
東北	4	0.0%
関東	118	1.4%
中部	232	2.7%
近畿	6,587	76.8%
中国	676	7.9%
四国	194	2.3%
九州・沖縄	600	7.0%
無回答	18	0.2%
合計	8,577	100.0%

問2　性別をお答えください。

選択肢	件数	構成比
男性	4,264	49.7%
女性	3,951	46.1%
回答しない	350	4.1%
無回答	12	0.1%
合計	8,577	100.0%

問3　高校卒業後の希望進路をお答えください。(現時点であてはまるもの1つにマーク)

選択肢	件数	構成比
進学	6,996	81.6%
就職	767	8.9%
現時点では未定	787	9.2%
無回答	27	0.3%
合計	8,577	100.0%

問4　大学卒業後、国内外で英語を使うなど国際的なレベルで活動することを希望しますか。（あてはまるもの 1 つにマーク）

選択肢	件数	構成比
大いに希望する	493	5.7%
ある程度希望する	2,437	28.4%
希望しない	5,608	65.4%
無回答	39	0.5%
合計	8,577	100.0%

問5　データサイエンスやAIに関する学習に興味がありますか。（あてはまるもの1つにマーク）

選択肢	件数	構成比
大いにある	366	4.3%
ある程度ある	1,731	20.2%
あまり無い	3,380	39.4%
まったく無い	1,830	21.3%
わからない	1,235	14.4%
無回答	35	0.4%
合計	8,577	100.0%

問6　設置構想中の宝塚医療大学 観光学部 観光学科（仮称）を受験したいと思いますか。（あてはまるもの1つにマーク）

選択肢	件数	構成比
受験したい	187	2.2%
現時点で受験する予定はない	8,263	96.3%
無回答	127	1.5%
合計	8,577	100.0%

【問7から問9は、問6で「受験したい」と回答した 187 件が対象である】

問7　観光学部 観光学科（仮称）に合格した場合、入学したいと思いますか。（あてはまるもの1つにマーク）

選択肢	件数	構成比
入学したい	87	46.5%
併願大学の結果によっては入学したい	92	49.2%
無回答	8	4.3%
合計	187	100.0%

問8　受験の際に利用したい入試方法をお答えください。（あてはまるものすべてにマーク）

選択肢	件数	回答率
一般選抜（一般入試）	94	50.3%
学校推薦型選抜（指定校推薦入試・公募制推薦入試）	103	55.1%
総合型選抜	50	26.7%

複数回答可。回答率＝回答件数／対象回答数（164 件）

問9　大学卒業後の進路について、現時点で以下の業種に興味のある方は該当するものをお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）あてはまるものがない方は「その他」にマークしてください。

選択肢	件数	構成比
ホテル関係	43	23.0%
航空関係	20	10.7%
観光協会など	8	4.3%
イベント関係	8	4.3%
ブライダル関係	18	9.6%
旅行代理店など	9	4.8%
公務員（観光関連分野）	19	10.2%
その他	51	27.3%
無回答	11	5.9%
合計	187	100.0%

【問 10 は、問6で「現時点では受験する予定はない」と回答した 8,263 件が対象である】

問10　あなたが観光学部 観光学科（仮称）を「現時点で受験する予定はない」とした理由について、お答えください。（あてはまるものすべてにマーク）

選択肢	件数	回答率
興味・関心はあるが、もっと詳しい情報を知った上で検討したいから	832	10.1%
他の大学への進学を目指しているから	3,704	44.8%
興味・関心のある学問分野ではないから	2,994	36.2%
自宅からの通学が不便だから	1,187	14.4%
学費が高いから	603	7.3%
専門学校への進学を希望しているから	1,032	12.5%
就職を希望しているから	715	8.7%
その他	152	1.8%

複数回答可。回答率＝回答件数／対象回答数（8,263 件）

【資料】アンケート調査用紙

宝塚医療大学
観光学部 観光学科（仮称・設置構想中）

設置構想についての高校生アンケート調査
（対象：2022年（令和4）年度現在 高校2年生のみなさん）

宝塚医療大学（兵庫県宝塚市）は、2024（令和6）年4月に観光学部 観光学科（仮称）の設置を構想しています。本学ではこのアンケート調査を通して、同年度に大学進学を迎える現高校2年生の皆さんからご意見をお聞きし、構想内容に反映したいと考えております。本アンケートから得た情報は、宝塚医療大学「観光学部 観光学科（仮称）」設置構想に係る統計資料としてのみ活用いたします。

アンケート調査へのご協力をよろしくお願いいたします。

※このアンケート調査は宝塚医療大学から委託された第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）が実施しています。

【アンケート記入にあたっての注意事項】
・記入は必ず黒のシャープペンシル、または黒鉛筆を使用してください。
・訂正する場合は、消しゴムできれいに消してください。
・解答用紙（マークシート）を汚したり、折り曲げたりしないでください。

正しい回答のように丁寧に塗りつぶしてください。誤った回答の場合、正確に読み込めず判断できない場合があります。

問 1 現在お住まいの地域（寮生等の場合は出身地域）をお答えください。（あてはまるもの１つにマーク）

⬯ 北海道　⬯ 東北　⬯ 関東　⬯ 中部　⬯ 近畿　⬯ 中国　⬯ 四国　⬯ 九州・沖縄

問 2 性別をお答えください。

⬯ 男性　⬯ 女性　⬯ 回答しない

問 3 高校卒業後の希望進路をお答えください。（現時点であてはまるもの１つにマーク）

⬯ 進学　⬯ 就職　⬯ 現時点では未定

問 4 大学卒業後、国内外で英語を使うなど国際的なレベルで活動することを希望しますか。（あてはまるもの1つにマーク）

⬯ 大いに希望する　⬯ ある程度希望する　⬯ 希望しない

問 5 データサイエンスやＡＩに関する学習に興味がありますか。（あてはまるもの１つにマーク）

⬯ 大いにある　⬯ ある程度ある　⬯ あまり無い　⬯ まったく無い　⬯ わからない

※以降は宝塚医療大学 観光学部 観光学科（仮称）概要をご覧の上お答えください。

問 6 設置構想中の宝塚医療大学 観光学部 観光学科（仮称）を受験したいと思いますか。（あてはまるもの１つにマーク）

⬯ 受験したい　⇒以下の問7～9にお答えください。

⬯ 現時点で受験する予定はない　⇒以下の問10にお答えください。

本アンケート調査用紙に印刷されている
QRコードは集計時に使用するものです。
個人の特定を目的とするものではありません。

※問7～問9は、問6で「受験したい」と回答した方がお答えください。

問 7 観光学部 観光学科（仮称）に合格した場合、入学したいと思いますか。（あてはまるもの 1 つにマーク）

- 入学したい
- 併願大学の結果によっては入学したい

問 8 受験の際に利用したい入試方法をお答えください。（あてはまるものすべてにマーク）

- 一般選抜（一般入試）
- 学校推薦型選抜（指定校推薦入試・公募制推薦入試）
- 総合型選抜

問 9 大学卒業後の進路について、現時点で以下の業種に興味のある方は該当するものをお答えください。（あてはまるもの 1 つにマーク）あてはまるものがない方は「その他」にマークしてください。

- ホテル関係
- 航空関係
- 観光協会など
- イベント関係
- ブライダル関係
- 旅行代理店など
- 公務員（観光関連分野）
- その他

※問10は、問6で「現時点で受験する予定はない」と回答した方のみお答えください。

問 10 あなたが観光学部 観光学科（仮称）を「現時点で受験する予定はない」とした理由について、お答えください。（あてはまるものすべてにマーク）

- 興味・関心はあるが、もっと詳しい情報を知った上で検討したいから
- 他の大学への進学を目指しているから
- 興味・関心のある学問分野ではないから
- 自宅からの通学が不便だから
- 学費が高いから
- 専門学校への進学を希望しているから
- 就職を希望しているから
- その他

質問は以上となります。ご協力いただき、ありがとうございました。

本アンケート調査用紙に印刷されている
QRコードは集計時に使用するものです。
個人の特定を目的とするものではありません。

【資料】Web アンケート調査

宝塚医療大学 観光学部 観光学科（仮称） 設置構想についての高校生アンケート調査

対象：2022年（令和4）年度現在 高校2年生のみなさん

1ページ目（全4ページ）

宝塚医療大学（兵庫県宝塚市）は、2024（令和6）年4月に観光学部 観光学科（仮称）の設置を構想しています。本学ではこのアンケート調査を通
して、同年度に大学進学を迎える現高校2年生の皆さんからご意見をお聞きし、構想内容に反映したいと考えております。本アンケートから得た情報は、宝塚医療大学「観光学部 観光学科（仮称）」設置構想に係る統計資料としてのみ活用いたします。
　アンケート調査へのご協力をよろしくお願いいたします。
※このアンケート調査は宝塚医療大学から委託された第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）が実施しています

◆規約 必須

本アンケート調査は、お一人につき、回答は一回となります。

☐

同意する

規約に同意の上、チェックしてください

次へ

宝塚医療大学 観光学部 観光学科（仮称） 設置構想についての高校生アンケート調査

対象：2022年（令和4）年度現在 高校2年生のみなさん

2ページ目（全4ページ）

問 1 現在お住まいの地域（寮生等の場合は出身地域）をお答えください。 必須
（あてはまるもの１つにチェック）
選択してください

問 2 性別をお答えください。 必須
選択してください

問 3 高校卒業後の希望進路をお答えください。 必須
（現時点であてはまるもの１つにチェック）
選択してください

問 4 大学卒業後、国内外で英語を使うなど国際的なレベルで活動することを希望しますか。 必須
（あてはまるもの１つにチェック）
選択してください

問 5 データサイエンスやＡＩに関する学習に興味がありますか。 必須
（あてはまるもの１つにチェック）
選択してください

以降は、次ページの「宝塚医療大学 観光学部 観光学科（仮称）」概要をご覧の上、お答えください。

次へ　戻る

◆概要ページを閲覧後

宝塚医療大学 観光学部 観光学科（仮称） 設置構想についての高校生アンケート調査

対象：2022年（令和4）年度現在 高校2年生のみなさん

4ページ目（全4ページ）

問 6 設置構想中の宝塚医療大学 観光学部 観光学科（仮称）を受験したいと思いますか。 必須

（あてはまるもの１つにチェック）

選択してください

送信 戻る

◆受験したいと回答した場合

宝塚医療大学 観光学部 観光学科（仮称） 設置構想についての高校生アンケート調査

対象：2022年（令和4）年度現在 高校2年生のみなさん

4ページ目（全4ページ）

問 6 設置構想中の宝塚医療大学 観光学部 観光学科（仮称）を受験したいと思いますか。 必須

（あてはまるもの１つにチェック）

受験したい

観光学部 観光学科（仮称）に合格した場合、入学したいと思いますか。 必須

（あてはまるもの１つにチェック）

選択してください

受験の際に利用したい入試方法をお答えください 必須

（あてはまるものすべてにチェック）

☐ 一般選抜（一般入試）

☐ 学校推薦型選抜（指定校推薦入試・公募制推薦入試）

☐ 総合型選抜

大学卒業後の進路について、現時点で以下の業種に興味のある方は該当するものをお答えください。あてはまるものがない方は「その他」にマークしてください。 必須

（あてはまるもの１つにチェック）

選択してください

送信 戻る

◆現時点で受験する予定はないと回答した場合

宝塚医療大学 観光学部 観光学科（仮称） 設置構想についての高校生アンケート調査

対象：2022年（令和4）年度現在 高校2年生のみなさん

4ページ目（全4ページ）

問 6 設置構想中の宝塚医療大学 観光学部 観光学科（仮称）を受験したいと思いますか。 必須

（あてはまるもの１つにチェック）

現時点で受験する予定はない

あなたが観光学部 観光学科（仮称）を「現時点で受験する予定はない」とした理由について、お答えください。 必須

（あてはまるものすべてにチェック）

☐ 興味・関心はあるが、もっと詳しい情報を知った上で検討したいから

☐ 他の大学への進学を目指しているから

☐ 興味・関心のある学問分野では無いから

☐ 自宅からの通学が不便だから

☐ 学費が高いから

☐ 専門学校への進学を希望しているから

☐ 就職を希望しているから

☐ その他

送信 戻る

【資料】学部学科概要

観光は、これからの日本社会をけん引する成長産業　時代が求める新しい観光のエキスパートを育成

宝塚医療大学 観光学部 観光学科 仮称/設置構想中

学部の概要

開設場所	1年次：宮古島市（沖縄県）／全寮制※宮古島市出身の学生は除く 2年次以降：尼崎市（兵庫県）
開設時期	2024（令和6）年4月
修業年限	４年
取得学位	学士(観光学)
入学定員	100名（収容定員400名）

宮古島市は日本屈指の観光産業の集積地

宮古島から伊良部大橋と伊良部島を望む

育成する能力と対応するカリキュラム

① 実践的で高い英語力の育成

- 充実した英語カリキュラム（１年次の宮古島キャンパスで集中教育）
- 宮古島キャンパスでは、2名のネイティブスピーカー教員による指導
- 短期・中長期の海外留学（海外連携大学 等）も可能

② 情報処理能力やデータサイエンス・AIに関する知識技術の育成

- 入学前教育も含め、全員が高い情報リテラシーを獲得
- そのうえでデータサイエンスおよびAIに関する教育を実施

③ ホスピタリティー精神にあふれたコミュニケーション能力の育成

- コミュニケーションの基盤である教養教育を重視したカリキュラム
- 宮古島の学生寮での集団生活においてもホスピタリティー精神の育成を重視

④ 感染症など医療分野の知識・技術を教育

- これからの観光専門職には、感染症など医療分野の知識・技術は不可欠
- 宝塚医療大学のノウハウを活かしたカリキュラムを構築

⑤ 充実したインターンシップによる実践的能力の育成

- １年次は宮古島市内の多様な観光関係企業や機関での短期インターンシップ
- ２年次以降は、各希望分野、進路に応じた主要観光産業での中長期インターンシップ

⑥ 重点的に学べる専門分野（科目群）

ヘルスツーリズム ｜ 地域経営（観光による地域活性化）｜ ホテル・ブライダル ｜ エアライン

◆卒業後の進路

観光学部 観光学科（仮称）の学生の卒業後の進路先は、
旅行会社、ホテル、航空会社、空港、観光協会、クルージング会社など観光やホスピタリティー関連の企業等
への就職を想定しています。

◆宮古島の学生寮

１年次は、宮古島キャンパス内にある新しい学生寮で生活をします。
※宮古島市出身の学生は除く

- 教室まで徒歩1分
- 寮室は全室個室（トイレ、シャワーを含む）
- 各フロア（３階建）には広いコモンスペース有り
  –コモンスペースにはキッチンもあり、自分達で島の食材を使った調理も出来ます。
- 全館wi-fi完備

学生寮完成イメージ

※上記は構想中の内容のため、変更する場合があります。

初年度納付金（近隣大学との比較）

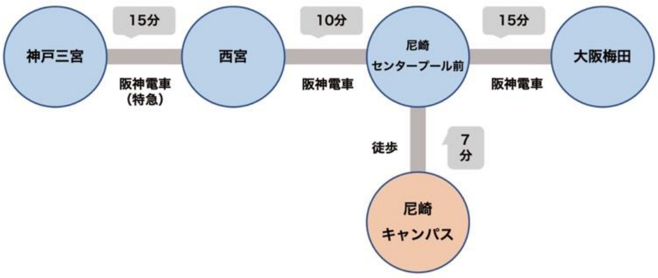
大学名	学部・学科名	所在地	入学金	授業料	その他※	1年次納入金（計）
宝塚医療大学	**観光学部 観光学科（仮称）**	**沖縄県 宮古島市 兵庫県 尼崎市**	**300,000円**	**1,100,000円**	**ー**	**1,400,000円**
関西国際大学	国際コミュニケーション学部 観光学科	兵庫県神戸市	300,000円	857,000円	302,000円	1,459,000円
阪南大学	国際観光学部 国際観光学科	大阪府松原市	210,000円	800,000円	280,000円	1,290,000円
平安女学院大学	国際観光学部 国際観光学科	京都府京都市	250,000円	980,000円	170,000円	1,400,000円
大阪観光大学	観光学部 観光学科	大阪府泉南部	300,000円	650,000円	380,000円	1,330,000円
大阪成蹊大学	国際観光学部 国際観光学科	大阪府大阪市	250,000円	963,000円	197,000円	1,410,000円

＜注＞その他※：教育充実費、施設費などを含みます。また、本表からは諸経費は除きます。
＜出典＞各大学ホームページ（2022年9月現在）

アクセス

1年次：宮古島キャンパス（沖縄県宮古島市城辺字福里616）

2年次以降：尼崎キャンパス（兵庫県尼崎市道意町6丁目6－3）



宝塚医療大学
TUMH
TAKARAZUKA UNIVERSITY of MEDICAL and HEALTH CARE
〒666-0162　兵庫県宝塚市花屋敷緑ガ丘1
TEL　072-736-8600　FAX　072-736-8659
HP　https://www.tumh.ac.jp/

＼Instaglam／　＼twitter／

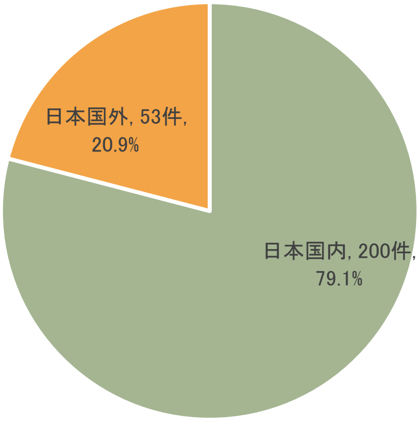
※上記は構想中の内容のため、変更する場合があります。

②留学生アンケート調査結果について

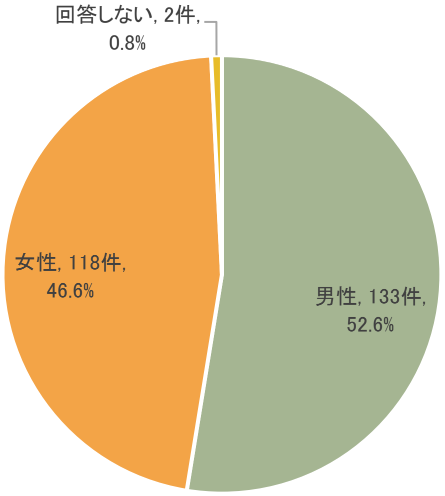
①	回答者の基本情報（居住地、性別）-問１、問２

回答者の居住地は、「日本国内」が 181 件、「日本国外」が 53 件であった。
性別は、「男性」が 133 件、「女性」が 118 件、「回答しない」が 2 件であった。

居住地



性別

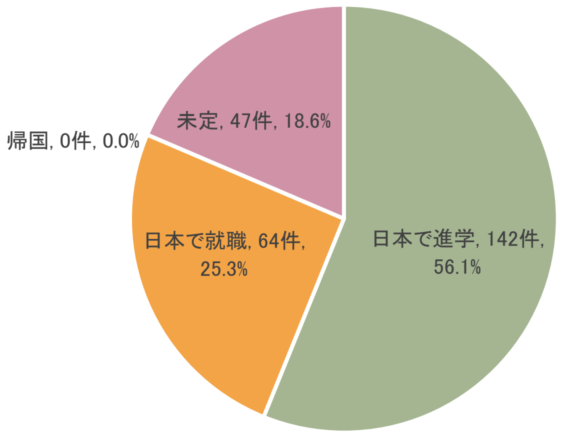


② 回答者の希望進路-問３、４

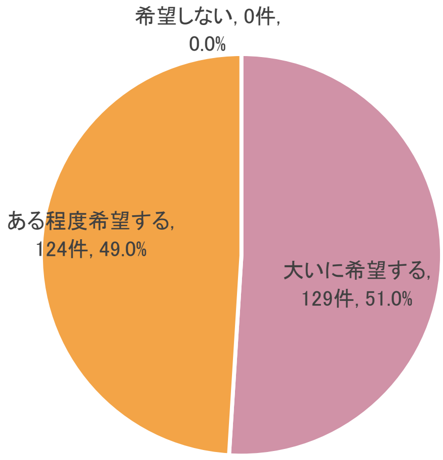
回答者が日本語学校等卒業後に希望する進路は「日本で進学」が 142 件で、回答者の半数を占めており、次いで、「日本で就職」が 64 件、「未定」が 47 件であった。

回答者が将来、国内外の観光産業で働くことを希望するか質問したところ、「大いに希望する」が 129 件、「ある程度希望する」が 124 件で、「希望しない」と回答したものは 0 件であった。

希望進路



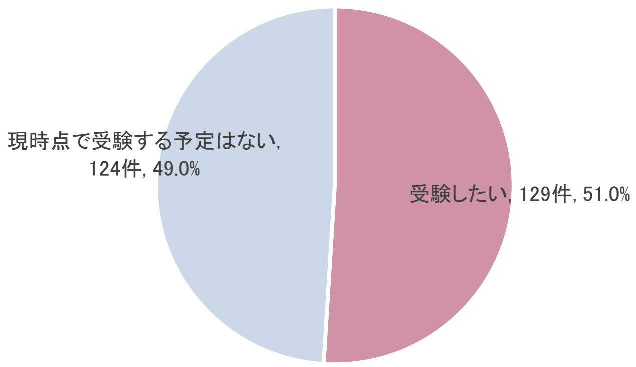
国内外の観光産業で働くことを希望するか



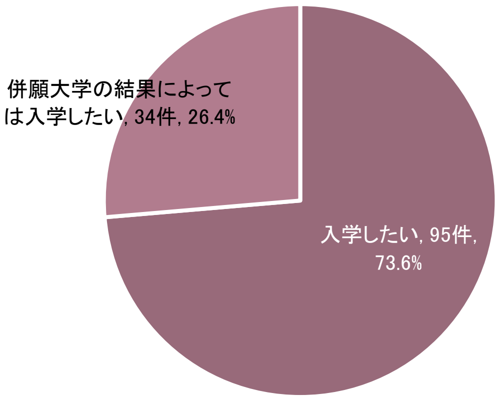
③ 観光学部観光学科（仮称）への受験、入学意向-問５、６

宝塚医療大学観光学部観光学科（仮称）への受験意向を質問したところ、「受験したい」が 129 件であった。この 129 件に対し、観光学部観光学科（仮称）を受験し、合格した場合の入学意向を質問したところ、「入学したい」が 95 件、「併願大学の結果によっては入学したい」が 34 件であった。

受験意向



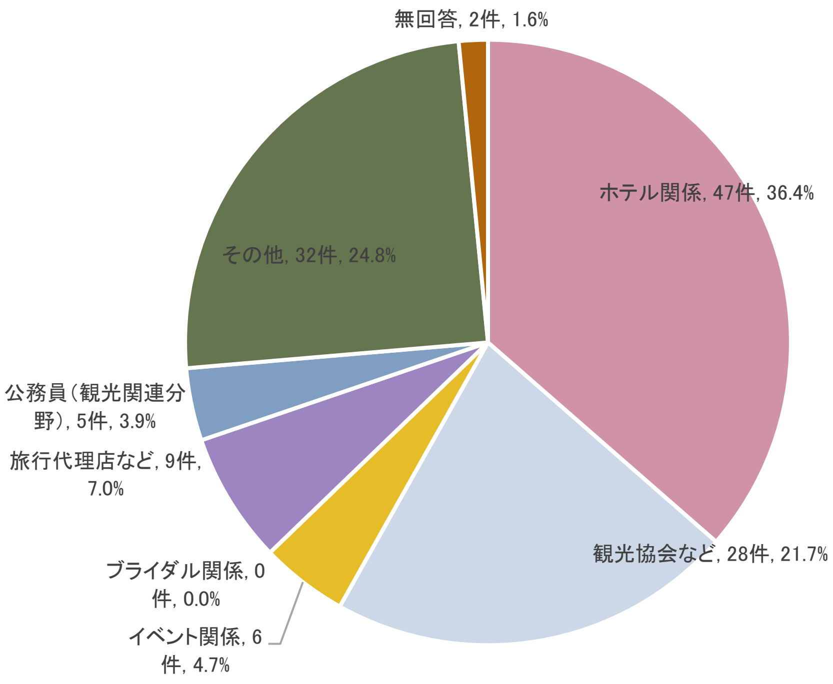
入学意向



④	大学卒業後の進路について興味のある業種—問７

　宝塚医療大学観光学部観光学科（仮称）への受験意欲を示した 129 件に対し、大学卒業後の進路について、現時点で興味のある業種を質問したところ、最も多いのが「ホテル関係」が 47 件で、次いで「その他」が 32 件、「観光協会」が 28 件であった。

業種



②留学アンケート全体集計結果

※パーセンテージはいずれも、小数点第２位を四捨五入し記載。

問１　現在お住まいの地域をお答えください。

選択肢	回答件数	構成比
日本国内	200	79.1%
日本国外	53	20.9%
合計	253	100.0%

問２　性別をお答えください。

選択肢	回答件数	構成比
男性	133	52.6%
女性	118	46.6%
回答しない	2	0.8%
合計	253	100.0%

問３　日本語学校等卒業後の希望進路をお答えください。

選択肢	回答件数	構成比
日本で進学	142	56.1%
日本で就職	64	25.3%
帰国	0	0.0%
未定	47	18.6%
合計	253	100.0%

問４　将来、国内外の観光産業で働くことを希望しますか。

選択肢	回答件数	構成比
大いに希望する	129	51.0%
ある程度希望する	124	49.0%
希望しない	0	0.0%
合計	253	100.0%

問５　設置構想中の宝塚医療大学　観光学部　観光学科（仮称）を受験したいと思いますか。

選択肢	回答件数	構成比
受験したい	129	51.0%
現時点では受験する予定はない	124	49.0%
合計	253	100.0%

問 6～問 7 は、問 5 で「受験したい」と回答された 129 件が回答対象である。

問６　観光学部　観光学科（仮称）に合格した場合、入学したいと思いますか。

選択肢	回答件数	構成比
入学したい	95	73.6%
併願大学の結果によっては入学したい	34	26.4%
合計	129	100.0%

問７　大学卒業後の進路について、現時点で以下の業種に興味のある方は該当するものをお答えください。
あてはまるものがない方は「その他」にマークしてください。

選択肢	回答件数	構成比
ホテル関係	47	36.4%
観光協会など	28	21.7%
イベント関係	6	4.7%
ブライダル関係	0	0.0%
旅行代理店など	9	7.0%
公務員（観光関連分野）	5	3.9%
その他	32	24.8%
無回答	2	1.6%
合計	129	100.0%

【資料】アンケート調査用紙

宝塚医療大学 観光学部 観光学科（仮称）設置構想についての
留学生アンケート調査

Questionnaires on Tourism Department (Planned)
of Takarazuka University of Medical Health Care (TUMH)

宝塚医療大学（日本国）は、2024 年 4 月に観光学部 観光学科（仮称）の設置を構想しています。本学ではこのアンケート調査を通して、同年度に大学進学を迎える皆さんからご意見をお聞きし、構想内容に反映したいと考えております。本アンケートから得た情報は、宝塚医療大学「観光学部 観光学科（仮称）」設置構想に係る統計資料としてのみ活用いたします。

アンケート調査へのご協力をよろしくお願いいたします。

※ このアンケート調査は宝塚医療大学から委託された第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）が実施しています。

※ 本アンケート調査は、お一人につき、回答は一回となります。

TUMH of Japan is planning to open Tourism Course in Tourism Department in April 2023. We would like to hear opinions of you, aiming the enrollment in any university in 2024, to reflect your esteemed opinion on our project to make it realistic and successful. You are assured that any information submitted to us is used only as a statistical data concerning the above project.

Your kind support to us by answering the following questionnaires shall be highly appreciated.

*This survey is conducted by the third party officially commissioned by TUMH.

*Please answer to the questionnaires only once per person.

【以下、あてはまるもの１つにチェックをしてください】
Please answer mark one suitable to you.

問１　現在お住まいの地域をお答えください。
Q1. Where are you living now?

☐ 日本国内 In Japan　☐ 日本国外 Outside of Japan

問２　性別をお答えください。
Q2. Your Sexuality

☐ 男性 Male　☐ 女性 Female　☐ 回答しない No Answer

問３　日本語学校等卒業後の希望進路をお答えください。
Q3. Your desired course after finishing Japanese Language Program for International Student?

☐ 日本で進学 Enrollment to Advanced School　☐ 日本で就職 Employee in Japan

☐ 帰国 Return to Home Country　☐ 未定 Not yet Decided

問４　将来、国内外の観光産業で働くことを希望しますか。

Q4. How is your desire to work in Tourism Industries in Japan in the future?

□ 大いに希望する Very Highly Desired　　□ ある程度希望する Somewhat Desired

□ 希望しない No Desire

問５　設置構想中の宝塚医療大学 観光学部 観光学科（仮称）を受験したいと思いますか。

Q5. Do you feel like take an examination of Tourism Department of TUMH under planning?

□ 受験したい Yes, I want to.　　□ 現時点で受験する予定はない No, I don't think so now.

⇓　　⇓

問６へ (Please answer Q6. onward)　回答終了 (You need not answer further. Thank you.)

問６　観光学部 観光学科（仮称）に合格した場合、入学したいと思いますか。

Q6. If you have passed the examination of Tourism Department of TUMH, do you come?

□ 入学したい Yes, I do.

□ 併願大学の結果によっては入学したい Answer is subject to the result of entrance examination of other universities.

問７　大学卒業後の進路について、現時点で以下の業種に興味のある方は該当するものをお答えください。あてはまるものがない方は「その他」にマークしてください。

Q7. Please mark your interested industry type (as hereunder) as a future course after graduation.
If you cannot find any of your interest, please mark 'Others'.

□ ホテル関係 The Hotel industry　　□ 観光協会など Tourism Association

□ イベント関係 Exhibition Industry　　□ ブライダル関係 Wedding Industry

□ 旅行代理店など Travel Agency　　□ 公務員（観光関連分野）Civil Servant (in tourism fields)

□ その他 Others

以上になります。アンケートにご協力いただきありがとうございました。

Thank you very much for your cooperation.

【資料】学部学科概要

観光は、これからの日本社会をけん引する成長産業　時代が求める新しい観光のエキスパートを育成

宝塚医療大学　観光学部　観光学科　仮称/設置構想中

学部の概要

開設場所	1年次：宮古島市（沖縄県）／全寮制※宮古島市出身の学生は除く 2年次以降：尼崎市（兵庫県）
開設時期	2024（令和6）年4月
修業年限	4年
取得学位	学士(観光学)
入学定員	100名（収容定員400名）

宮古島市は日本屈指の観光産業の集積地

宮古島から伊良部大橋と伊良部島を望む

育成する能力と対応するカリキュラム

① **実践的で高い英語力の育成**

- 充実した英語カリキュラム（１年次の宮古島キャンパスで集中教育）
- 宮古島キャンパスでは、2名のネイティブスピーカー教員による指導
- 短期・中長期の海外留学（海外連携大学 等）も可能

② **情報処理能力やデータサイエンス・AIに関する知識技術の育成**

- 入学前教育も含め、全員が高い情報リテラシーを獲得
- そのうえでデータサイエンスおよびAIに関する教育を実施

③ **ホスピタリティー精神にあふれたコミュニケーション能力の育成**

- コミュニケーションの基盤である教養教育を重視したカリキュラム
- 宮古島の学生寮での集団生活においてもホスピタリティー精神の育成を重視

④ **感染症など医療分野の知識・技術を教育**

- これからの観光専門職には、感染症など医療分野の知識・技術は不可欠
- 宝塚医療大学のノウハウを活かしたカリキュラムを構築

⑤ **充実したインターンシップによる実践的能力の育成**

- １年次は宮古島市内の多様な観光関係企業や機関での短期インターンシップ
- ２年次以降は、各希望分野、進路に応じた主要観光産業での中長期インターンシップ

⑥ **重点的に学べる専門分野（科目群）**

ヘルスツーリズム　|　地域経営（観光による地域活性化）　|　ホテル・ブライダル　|　エアライン

◆卒業後の進路

観光学部 観光学科（仮称）の学生の卒業後の進路先は、
旅行会社、ホテル、航空会社、空港、観光協会、クルージング会社など観光やホスピタリティー関連の企業等
への就職を想定しています。

◆宮古島の学生寮

１年次は、宮古島キャンパス内にある新しい学生寮で生活をします。
※宮古島市出身の学生は除く

- 教室まで徒歩1分
- 寮室は全室個室（トイレ、シャワーを含む）
- 各フロア（３階建）には広いコモンスペース有り
  –コモンスペースにはキッチンもあり、自分達で島の食材を使った調理も出来ます。
- 全館wi-fi完備

学生寮完成イメージ

※上記は構想中の内容のため、変更する場合があります。

初年度納付金（近隣大学との比較）

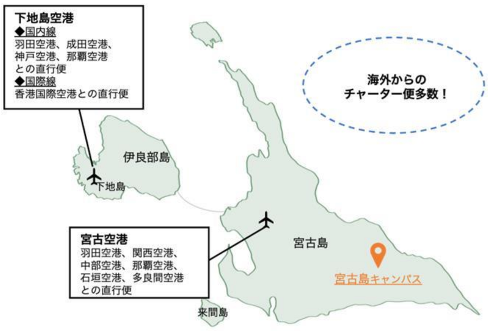
※ 私費外国人留学生対象の納付金

大学名	学部・学科名	所在地	入学金	授業料	その他※	1年次納入金（計）
宝塚医療大学	観光学部 観光学科（仮称）	沖縄県 宮古島市 兵庫県 尼崎市	150,000円	800,000円	―	950,000円
関西国際大学	国際コミュニケーション学部 観光学科	兵庫県神戸市	200,000円	514,200円	197,200円	911,400円
阪南大学	国際観光学部 国際観光学科	大阪府松原市	210,000円	400,000円	280,000円	890,000円
平安女学院大学	国際観光学部 国際観光学科	京都府京都市	125,000円	784,000円	170,000円	1,079,000円
大阪観光大学	観光学部 観光学科	大阪府泉南部	150,000円	420,000円	380,000円	950,000円
大阪成蹊大学	国際観光学部 国際観光学科	大阪府大阪市	250,000円	674,100円	197,000円	1,121,100円

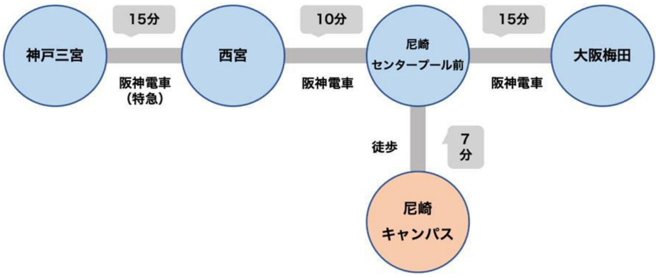
＜注＞その他※：教育充実費、施設費などを含みます。また、本表からは諸経費は除きます。
＜出典＞各大学ホームページ（2022年9月現在）

アクセス

1年次：宮古島キャンパス（沖縄県宮古島市城辺字福里616）



2年次以降：尼崎キャンパス（兵庫県尼崎市道意町6丁目6－3）



宝塚医療大学
TUMH
TAKARAZUKA UNIVERSITY of MEDICAL and HEALTH CARE
〒666-0162　兵庫県宝塚市花屋敷緑ガ丘1
TEL　072-736-8600　FAX　072-736-8659
HP　https://www.tumh.ac.jp/

＼Instaglam／　＼twitter／

※上記は構想中の内容のため、変更する場合があります。

【資料2：私立大学 観光系学部一般選抜募集状況】

大学名	学部名	学科名	2023 入学定員	平成30年度（2018）				平成31年度（2019）				令和2年度（2020）				令和3年度（2021）				令和4年度（2022）			
				志願	受験	合格	実質倍率	志願	受験	合格	実質倍率	志願	受験	合格	実質倍率	志願	受験	合格	実質倍率	志願	受験	合格	実質倍率
札幌国際	観光	観光ビジネス	140	44	44	43	1.02	55	55	53	1.04	53	53	53	1.00	54	54	52	1.04	34	34	32	1.06
札幌国際	観光	国際観光	-	19	19	19	1.00	26	26	25	1.04	40	40	40	1.00	27	27	25	1.08				
流通経済	社会	国際観光	120	186	186	75	2.48	383	383	46	8.33	363	299	49	6.10	155	155	116	1.34	131	131	92	1.42
文教	国際	国際観光	125	699	662	234	2.83	947	913	135	6.76	907	859	103	8.34	790	750	106	7.08	411	388	210	1.85
川村学園女子	生活創造	観光文化	40	102	91	85	1.07	259	232	148	1.57	326	294	147	2.00	164	129	93	1.39	89	71	65	1.09
秀明	観光ﾋﾞｼﾞﾈｽ	観光ﾋﾞｼﾞﾈｽ	70	116	114	94	1.21	170	165	137	1.20	174	165	93	1.77	130	123	91	1.35	14	12	8	1.50
淑徳	経営	観光経営	90	72	70	60	1.17	198	194	24	8.08	123	119	19	6.26	87	83	67	1.24	38	32	30	1.07
城西国際	観光	観光	100	40	38	34	1.12	157	157	131	1.20	170	159	142	1.12	161	161	139	1.16	114	112	92	1.22
明海	ﾎｽﾋﾟﾀﾘﾃｨ･ﾂｰﾘｽﾞﾑ	ﾎｽﾋﾟﾀﾘﾃｨ･ﾂｰﾘｽﾞﾑ	200	224	215	148	1.45	339	326	227	1.44	375	359	205	1.75	215	203	169	1.20	159	151	130	1.16
跡見学園女子	観光ｺﾐｭﾆﾃｨ	観光ﾃﾞｻﾞｲﾝ	120	449	441	181	2.44	706	681	177	3.85	605	591	152	3.89	241	216	210	1.03	277	265	235	1.13
亜細亜	経営	ﾎｽﾋﾟﾀﾘﾃｨ・ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ	150	786	767	144	5.33	802	774	165	4.69	910	874	159	5.50	645	608	209	2.91	394	375	203	1.85
杏林	外国語	観光交流文化	90	665	643	145	4.43	949	922	144	6.40	783	747	115	6.50	454	432	116	3.72	248	248	183	1.36
國學院	観光	観光まちづくり	300																	2189	2148	626	3.43
駒沢女子	人間総合学群	観光文化学類	60	89	89	75	1.19	232	232	74	3.14	160	160	43	3.72	48	48	37	1.30	44	42	40	1.05
玉川	観光	観光	120	648	636	86	7.40	729	709	74	9.58	553	530	27	19.63	227	216	51	4.24	178	170	121	1.40
帝京	経済	観光経営	170	499	491	225	2.18	1081	1050	229	4.59	658	636	215	2.96	508	482	191	2.52	351	342	184	1.86
帝京平成	人文社会	観光経営	98	143	137	47	2.91	348	338	54	6.26	332	317	33	9.61	82	79	36	2.19	133	124	69	1.80
東海	観光	観光	200	1557	1513	241	6.28	2117	2057	266	7.73	1664	1610	309	5.21	1231	1177	388	3.03	1130	1090	484	2.25
東海	経営（九州）	観光ビジネス	-	196	191	112	1.71	347	331	183	1.81	311	298	143	2.08	163	157	121	1.30				
東洋	国際観光	国際観光	366	5470	5470	648	8.44	6013	6013	748	8.04	4884	4884	917	5.33	3225	3225	781	4.13	2927	2927	1210	2.42
立教	観光	観光	195	3305	3234	372	8.69	3110	3030	374	8.10	2237	2166	379	5.72	2752	2752	465	5.92	1852	1852	493	3.76
立教	観光	交流文化	175	2955	2895	317	9.13	1797	1746	358	4.88	2262	2201	347	6.34	1496	1496	436	3.43	2080	2080	493	4.22
松蔭	観光ﾒﾃﾞｨｱ文化	観光文化	48	-	-	-	-	98	98	90	1.09	143	143	127	1.13	131	131	110	1.19	67	67	62	1.08
横浜商科	商	観光ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ	70	69	66	22	3.00	89	86	33	2.61	145	137	22	6.23	41	38	14	2.71	46	46	38	1.21
新潟経営	観光経営	観光経営	-	33	31	21	1.48	30	30	21	1.43	49	47	38	1.24								
松本	総合経営	観光ﾎｽﾋﾟﾀﾘﾃｨ	80	342	326	109	2.99	358	357	124	2.88	443	432	108	4.00	315	304	121	2.51	239	232	125	1.86
愛知淑徳	交流文化	交流文化－国際交流・観光	160					1572	1545	419	3.69	1081	1052	358	2.94	766	751	539	1.39	607	594	462	1.29
京都外国語	国際貢献	グローバル観光	120	479	473	95	4.98	572	564	93	6.06	436	421	65	6.48	338	335	91	3.68	108	99	82	1.21
平安女学院	国際観光	国際観光	100	107	101	82	1.23	194	181	63	2.87	141	135	99	1.36	55	49	42	1.17	51	44	41	1.07
大阪観光	観光	観光	190	23	21	17	1.24	59	55	9	6.11	17	16	15	1.07	4	1	1	1.00	4	2	2	1.00
大阪国際	国際教養	国際観光	70	319	306	26	11.77	343	320	35	9.14	278	265	84	3.15	153	142	50	2.84	63	61	52	1.17
大阪成蹊	国際観光	国際観光	80	97	93	58	1.60	172	165	67	2.46	233	223	77	2.90	131	118	83	1.42	118	66	38	1.74
阪南	国際観光	国際観光	155	1807	1744	444	3.93	2719	2622	476	5.51	2679	2527	765	3.30	1195	1113	662	1.68	698	648	594	1.09
関西国際	国際ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ	観光	80													177	156	122	1.28	94	75	70	1.07
神戸海星女子学院	現代人間	英語観光	45	89	87	87	1.00	88	85	84	1.01	92	87	83	1.05	27	26	22	1.18	18	18	17	1.06
神戸国際	経済	国際文化ﾋﾞｼﾞﾈｽ・観光	120	54	52	31	1.68	154	144	28	5.14	147	144	58	2.48	79	73	23	3.17	63	58	22	2.64
流通科学	人間社会	観光	70	118	113	38	2.97	254	251	111	2.26	258	252	68	3.71	153	151	57	2.65	127	123	69	1.78
安田女子	現代ビジネス	国際観光ビジネス	90	277	275	85	3.24	201	199	159	1.25	293	291	154	1.89	158	157	117	1.34	151	149	123	1.21
九州産業	地域共創	観光	150	426	423	237	1.78	682	671	277	2.42	979	971	272	3.57	730	718	272	2.64	732	723	335	2.16
西南女学院	人文	観光文化	60	81	81	79	1.03	81	81	76	1.07	101	101	70	1.44	51	51	51	1.00	57	57	57	1.00
長崎国際	人間社会	国際観光	200	188	188	154	1.22	146	145	127	1.14	184	182	152	1.20	173	172	143	1.20	175	174	144	1.21
熊本学園	商	ﾎｽﾋﾟﾀﾘﾃｨ・ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ	80	119	118	82	1.44	167	165	85	1.94	183	179	93	1.92	144	140	87	1.61	218	217	101	2.15
			合計	22,892	22,444	5,052	4.4	28,744	28,098	6,149	4.6	25,772	24,966	6,398	3.9	17,676	17,199	6,506	2.6	16,429	16,047	7,434	2.2
			平均	602	591	133	-	719	702	154	-	644	624	160	-	442	430	163	-	421	411	191	-

出所：河合塾「ガイドライン」、旺文社「螢雪時代」

※「－」は非公表

※塗りつぶしは、募集停止または設置されていない

【資料3：観光学部・国際観光学部の志願者・入学者動向（平成30年度～令和4年度）】

	集計学部数	入学定員(人)	志願者(人)	志願倍率	入学者数(人)	入学定員充足率(%)
H30年度	9	1,641	16,294	9.9	1,644	100.18
H31年度	9	1,641	16,944	10.3	1,742	106.15
R2年度	9	1,661	14,348	8.6	1,698	102.23
R3年度	9	1,691	11,076	6.5	1,588	93.91
R4年度	10	1,771	10,117	5.7	1,541	87.01
増減(H30-R4)	1	130	▲ 6,177	▲ 4.2	▲ 103	▲ 13.17
平均	9	1,681	13,756	8.2	1,643	97.90

出所：日本私立学校振興・共済事業団「私立大学・短期大学等入学志願動向」各年度より作成

【資料4:18歳人口の将来推計(全国　近畿　沖縄県)】

		2022年 令和4年	2023年 令和5年	2024年 令和6年	2025年 令和7年	2026年 令和8年	2027年 令和9年	2028年 令和10年	2029年 令和11年	2030年 令和12年	2031年 令和13年	2032年 令和14年	2032年 令和14年
全国	人数	1,121,285	1,097,416	1,063,451	1,090,537	1,092,199	1,084,161	1,070,907	1,068,668	1,050,118	1,034,763	1,023,785	1,014,014
	令和3年対比(%)	100.0	97.9	94.8	97.3	97.4	96.7	95.5	95.3	93.7	92.3	91.3	90.4
近畿	人数	185,626	181,639	175,609	179,326	179,180	178,016	174,980	174,564	172,074	168,834	165,668	164,226
	令和3年対比(%)	100.0	97.9	94.6	96.6	96.5	95.9	94.3	94.0	92.7	91.0	89.2	88.5
滋賀	人数	14,028	13,783	13,318	13,815	13,727	13,795	13,751	13,767	13,530	13,368	13,187	12,990
	令和3年対比(%)	100.0	98.3	94.9	98.5	97.9	98.3	98.0	98.1	96.4	95.3	94.0	92.6
京都	人数	22,738	22,376	22,202	22,516	22,267	21,988	21,100	21,087	20,703	20,138	20,092	19,826
	令和3年対比(%)	100.0	98.4	97.6	99.0	97.9	96.7	92.8	92.7	91.1	88.6	88.4	87.2
大阪	人数	77,446	75,864	72,886	74,431	74,562	73,970	72,958	72,653	71,514	70,417	68,980	68,819
	令和3年対比(%)	100.0	98.0	94.1	96.1	96.3	95.5	94.2	93.8	92.3	90.9	89.1	88.9
兵庫	人数	49,960	49,121	47,278	48,307	48,337	48,406	48,075	48,266	47,601	46,483	45,572	45,168
	令和3年対比(%)	100.0	98.3	94.6	96.7	96.8	96.9	96.2	96.6	95.3	93.0	91.2	90.4
奈良	人数	12,847	12,367	12,013	12,311	12,298	11,899	11,494	11,284	11,152	11,067	10,793	10,305
	令和3年対比(%)	100.0	96.3	93.5	95.8	95.7	92.6	89.5	87.8	86.8	86.1	84.0	80.2
和歌山	人数	8,607	8,128	7,912	7,946	7,989	7,958	7,602	7,507	7,574	7,361	7,044	7,118
	令和3年対比(%)	100.0	94.4	91.9	92.3	92.8	92.5	88.3	87.2	88.0	85.5	81.8	82.7
沖縄	人数	16,131	16,157	15,791	16,365	16,522	16,829	16,808	17,194	16,922	16,875	17,018	16,525
	令和3年対比(%)	100.0	100.2	97.9	101.5	102.4	104.3	104.2	106.6	104.9	104.6	105.5	102.4

出所:リクルート進学総研「18歳人口・進学率・残留率の推移2021年」より作成

【資料5:近隣競合大学 入学・在籍状況】

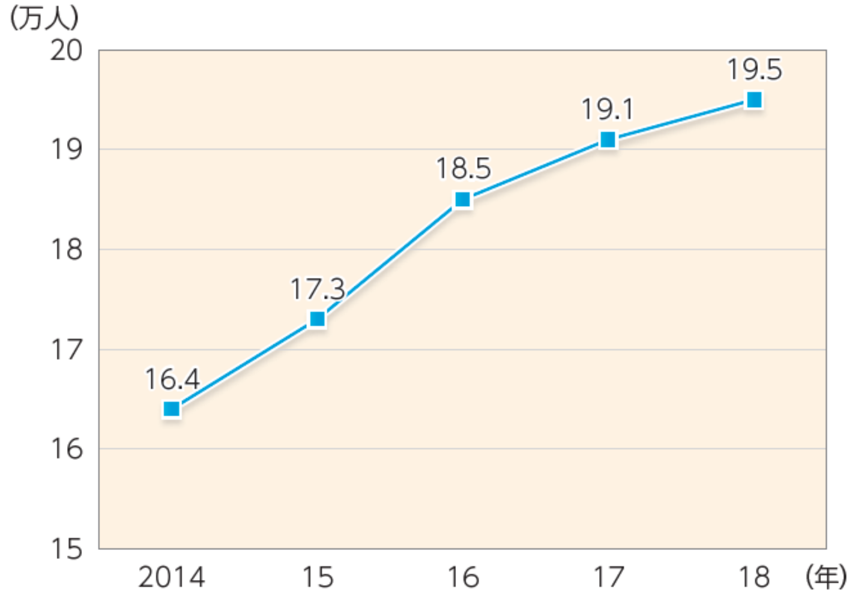
（2022年5月1日現在）

大学名	学部名	学科名	所在地	入学定員	入学者	入学定員充足率	収容定員	在籍者数	収容定員充足率	備考
琉球（国立）	国際地域創造	国際地域創造（観光地域デザインプログラム）		345	347	1.01	1,420	1,386	0.98	※すべて学部全体の数 ※すべて20201年5月1日現在の数 3年次編入学定員：20
和歌山（国立）	観光	観光	和歌山県和歌山市	120	125	1.04	480	526	1.10	
関西国際	国際コミュニケーション	観光	兵庫県尼崎市	80	28	0.35	320	81	−	2021年度新設
神戸海星女子学院	現代人間	英語観光	兵庫県神戸市	45	※30	−	180	※313	−	※入学者数、在籍者数は大学全体の数。
神戸国際	経済	国際文化ﾋﾞｼﾞﾈｽ・観光	兵庫県神戸市	120	114	0.95	480	502	1.05	
流通科学	人間社会	観光	兵庫県神戸市	250	232	0.93	1,000	1,049	1.05	※すべて学部全体の数
阪南	国際観光	国際観光	大阪府阪南市	155	130	0.84	624	631	1.01	3年次編入学定員：2
大阪観光	観光	観光	大阪府泉南郡	130	142	1.09	550	618	1.12	3年次編入学定員：15
大阪成蹊	国際観光	国際観光	大阪府大阪市	80	50	0.63	324	50	−	3年次編入学定員：2 ※2022年度新設
大阪国際	国際教養	国際観光	大阪府守口市	70	※588	−	280	※669	−	※入学者数は大学全体、在籍者数は学部全体の数
平安女学院	国際観光	国際観光	京都府京都市	110	54	0.49	440	397	0.90	2019年度までは、入学定員90名 3年次編入学定員：10
京都外国語	国際貢献	グローバル観光	京都府京都市	120	144	1.20	520	545	1.05	3年次編入学定員：20
			合計	1,005	941	0.94	4,094	4,268	1.04	琉球大、関西国際大、神戸海星女子学院大、大阪成蹊大、大阪国際大は合計・平均からは除外
			平均	144	134	-	585	610	-	

出所：各大学ホームページ情報公開より

【資料7:宿泊業の新規求人数の推移 】

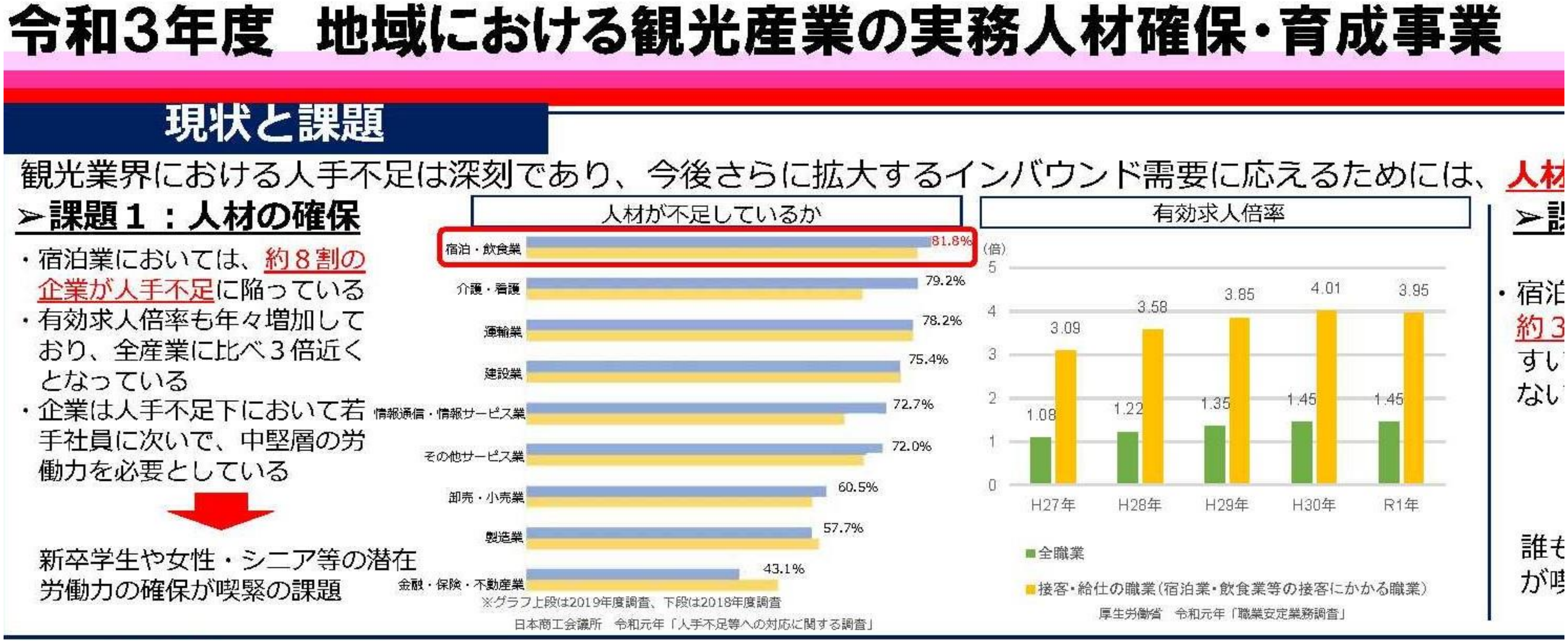
図表Ⅱ-33 宿泊業の新規求人数の推移



資料：厚生労働省「職業安定業務統計」に基づき観光庁作成

出所：令和元年度 観光白書 P86

【資料8：令和3年度　地域における観光産業の実務人材確保・育成事業】



出所：国土交通省観光庁 令和３年度「地域における観光産業の実務人材確保・育成事業」事業概要資料より抜粋

【資料9：新型コロナ終息後に観光旅行したい国・地域】

21.　新型コロナ終息後に観光旅行したい国・地域

新型コロナ終息後に観光旅行したい国・地域　　（回答はあてはまるもの全て、%）

順位	回答者→	全体	アジア全体	韓国	中国	台湾	香港	タイ	シンガポール	マレーシア	インドネシア	欧米豪全体	アメリカ	オーストラリア	イギリス	フランス
	サンプル数	5,662	3,822	466	515	489	470	470	468	466	478	1,840	456	462	453	469
1	日本	46	56	24	65	75	76	69	50	45	44	24	21	25	24	23
2	韓国	22	30	-	25	30	29	34	29	32	28	8	11	6	7	7
3	台湾	17	23	18	13	-	47	12	32	33	5	7	10	5	5	7
4	オーストラリア	16	16	18	14	16	16	7	22	20	17	17	17	-	21	12
5	タイ	16	19	14	15	13	27	-	27	-	16	12	10	13	15	11
6	シンガポール	15	17	14	17	12	11	16	-	-	33	12	9	18	13	7
7	ニュージーランド	15	15	15	15	18	11	9	21	17	11	14	13	-	21	9
8	アメリカ	14	9	18	10	13	7	6	10	3	6	28	-	21	39	25
9	スイス	12	12	21	10	14	10	9	15	11	8	12	11	13	-	-
10	イギリス	12	10	12	8	11	12	9	12	9	9	19	20	18	-	-
11	カナダ	11	8	17	8	11	8	3	6	4	3	20	-	17	23	20
12	フランス	11	9	13	13	10	8	7	11	7	7	17	18	15	-	-
13	中国本土	11	14	10	-	12	-	20	14	22	5	6	9	5	6	6
14	香港	11	11	14	-	8	-	14	12	11	9	9	11	8	11	7
15	マレーシア	10	11	7	10	9	10	-	-	-	19	8	7	11	10	6
16	ハワイ	9	9	24	16	11	6	3	4	5	2	11	-	15	13	6
17	イタリア	9	8	11	9	10	7	4	9	6	6	16	18	14	-	-
18	ドイツ	9	8	12	8	10	7	4	10	6	6	14	16	13	-	-
19	ベトナム	9	9	20	3	9	5	8	10	14	2	9	8	12	9	6
20	その他欧州諸国	8	6	11	3	9	8	2	10	5	4	13	13	13	-	-
21	スペイン	8	7	15	5	7	7	2	8	4	5	12	14	10	-	-
22	インドネシア	7	7	9	5	4	2	2	12	14	-	8	6	8	9	7
23	オーストリア	6	6	10	4	8	6	4	7	4	4	8	10	7	-	-
24	中東諸国（ドバイなど）	5	4	2	3	4	2	2	4	7	11	7	4	6	13	6
25	フィリピン	5	4	8	5	4	1	3	8	4	2	6	7	7	6	4
26	マカオ	5	5	8	-	6	-	6	4	8	1	4	6	4	4	2
27	インド	4	2	2	2	2	1	2	3	3	1	7	7	6	11	6
28	中南米諸国	4	2	4	2	3	1	-	2	1	0	8	8	5	10	8
29	グアム	3	4	18	2	9	4	0	0	0	0	1	-	1	2	0
30	メキシコ	3	2	3	2	2	2	0	2	1	0	8	-	4	13	9
31	アフリカ諸国	3	1	1	1	1	0	0	2	1	0	6	5	3	8	9
-	その他	2	1	1	-	1	0	1	1	2	1	3	2	2	4	2
-	わからない／特にない	5	3	5	1	3	1	2	3	5	1	11	8	7	14	15

（注）新型コロナ終息後に海外観光旅行について「（したいと）思わない」を選択した対象者および次に海外観光旅行の検討を再開するタイミングについて「現在の状況からは海外旅行の検討再開は考えられない」と回答した対象者を除く全員から回答を得た。

（注）上位５項目を赤または黄色で塗りつぶした。全体の割合において、「旅行したい国・地域」と「回答者の国・地域」または「近隣国」が同じ場合、当該国・地域の回答はサンプル数から除いている。

45

出所：DBJ・JTBFアジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査（2020年度 新型コロナ影響度 特別調査）

【資料 10：ポストコロナ時代を支える人材の確保・活用】

令和４年度　ポストコロナ時代を支える人材の確保・活用

令和4年度予算案額：126百万円の内数

国土交通省
観光庁

背景・課題

○観光産業に関わる人材は不足しており、特に宿泊業においては有効求人倍率が6.34倍(2019年平均)と、人手不足が深刻な状況である。ポストコロナを見据え、観光需要の回復に備えるためにも、人材の確保・活用を進めることが重要。

○これまで、特に地方部が抱える人材不足の課題に対して、就職氷河期世代や女性を採用・活用するための施策、地域の宿泊業で働くことの魅力を訴求するためのプロモーション等、地域の人材の確保に関する取り組みへの支援を行ってきた。

○これらの取り組みを引き続き支援するとともに、ウィズコロナの時代において、副業・兼業や、リモートワーク等の取り組みが加速している現状を踏まえ、新たな働き方を取り入れた人材の確保・活用についても支援する必要があるとともに、観光産業における従業員の意欲や満足度を高めることによる、人材の定着支援、生産性向上についても目指していく。

出所：内閣官房　令和４年度　就職氷河期世代支援関連予算　国土交通省より抜粋

【資料11：宝塚医療大学　新設学部設置構想についてのアンケート調査
　人材の需給見通しアンケート　報告書

宝塚医療大学　御中

宝塚医療大学　新設学部設置構想についてのアンケート調査
人材需要アンケート　ご報告書

令和５年２月８日
株式会社高等教育総合研究所

目　次

観光学部観光学科（仮称）についての人材需要アンケート調査 2
設置構想についてのアンケート調査概要 3
人材需要の見通しについての考察 4
調査結果について 6
全体集計結果 13
【資料】宝塚医療大学　観光学部観光学科（仮称）アンケート調査用紙 24
【資料】宝塚医療大学　観光学部観光学科（仮称）概要 27

観光学部観光学科（仮称）についての人材需要アンケート調査

設置構想についてのアンケート調査概要

目　　　的	宝塚医療大学が令和６（2024）年４月に設置を構想している観光学部観光学科（仮称）について、本アンケート調査により人材需要の見通しを測ることを目的とする。
対　　　象	全国を対象として、宝塚医療大学観光学部観光学科（仮称）を卒業後に採用が想定される企業・施設等の 2,248 件に調査を依頼した。
時　　　期	令和４（2022）年 10 月～12 月
調 査 方 法	調査対象先の人事・採用担当者あてに依頼状・アンケート調査用紙・学部学科概要・返送用封筒を送付し、調査を実施した。
調 査 内 容	主に選択肢式の 13 問。※一部記述あり 回答元の基本情報（所在地、業種、勤務人数等）、宝塚医療大学観光学部観光学科（仮称）の卒業生に対する採用意向等。
回 収 件 数	310 件

人材需要の見通しについての考察

本調査問５～問８で、宝塚医療大学が構想する観光学部観光学科（仮称）の主な学問分野は、今後の社会にとって必要であるか質問した。各分野の「とても必要である」と「ある程度必要だと思う」の回答数合計を見ると、ヘルスツーリズム分野は 260 件、地域経営分野は 297 件、ホテル・ブライダル分野は 225 件、エアライン分野は 183 件である。半数以上の企業が、観光学部観光学科（仮称）を今後の社会にとって必要な学問分野であると回答した。

	主な学問分野			
選択肢	ヘルスツーリズム	地域経営	ホテル・ブライダル	エアライン
とても必要だと思う	66	163	45	25
ある程度必要だと思う	194	134	180	158
どちらとも言えない	45	12	76	121
必要でないと思う	3	0	8	3
無回答	2	1	1	3
合計	310	310	310	310

問 11 の観光学部観光学科（仮称）を卒業した学生の採用意向については、「採用したい」の回答が 166 件である。採用意欲を示したこの 166 件に対し、採用可能と思われる人数を問 12 で質問したところ、合計は 513 人であった。

選択肢	回答件数
採用したい	166
採用したくない	6
わからない	134
無回答	4
合計	310

選択肢	回答件数	採用可能人数
1 名	31	31
2 名	59	118
3 名	30	90
4 名	7	28
5 名	22	110
6 名	1	6
7 名	0	0
8 名	0	0
9 名	0	0
10 名以上	13	130

合計	163	513

観光学部観光学科（仮称）の入学定員は 100 名であり、本調査における採用可能人数は 513 人で、入学定員の約 5 倍となっている。上記の結果から社会的ニーズへの評価も含め、観光学部観光学科（仮称）の卒業生については、十分な需要があると考えられる。

調査結果について

1　回答元の基本情報（所在地）―問１

回答元の所在地で最も多かったものは、「東京都」が 43 件であった。次いで、１年次のキャンパスが所在する「沖縄県」が 9 件であった。47 都道府県から回答を得た。

所在地

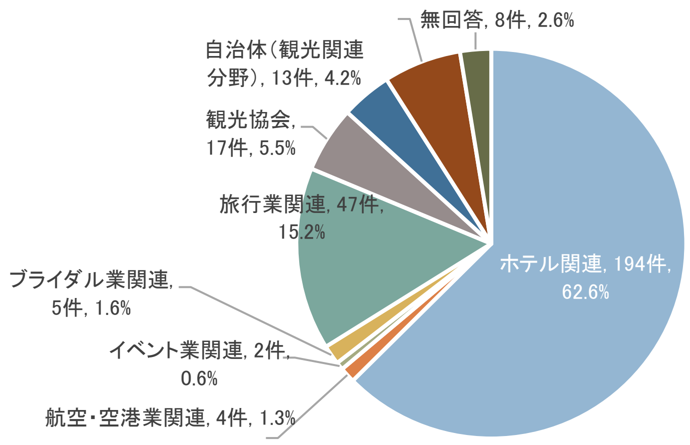
選択肢	回答数	選択肢	回答数	選択肢	回答数
北海道	16	石川県	4	岡山県	5
青森県	5	福井県	11	広島県	11
岩手県	5	山梨県	1	山口県	4
宮城県	6	長野県	8	徳島県	2
秋田県	3	岐阜県	3	香川県	4
山形県	2	静岡県	15	愛媛県	5
福島県	3	愛知県	6	高知県	2
茨城県	5	三重県	2	福岡県	7
栃木県	3	滋賀県	1	佐賀県	2
群馬県	9	京都府	9	長崎県	3
埼玉県	3	大阪府	13	熊本県	4
千葉県	12	兵庫県	15	大分県	3
東京都	43	奈良県	3	宮崎県	4
神奈川県	8	和歌山県	2	鹿児島県	6
新潟県	15	鳥取県	3	沖縄県	9
富山県	3	島根県	2	海外	0
				合計	310

２	回答元の主業種、従業員・職員数―問２、問３

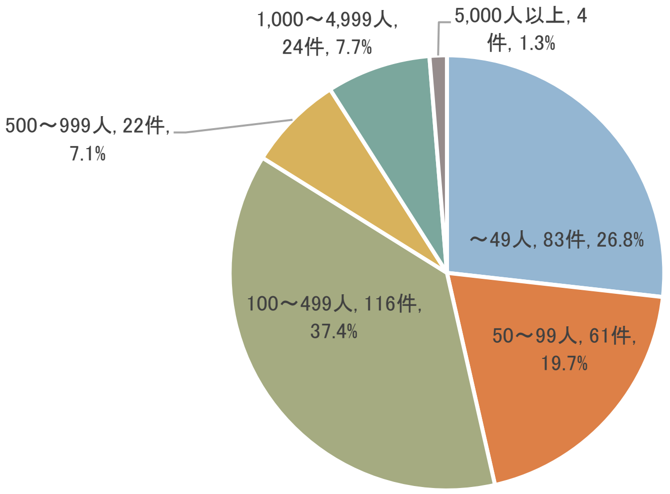
回答元の主業種で最も多かったものが、「ホテル関連」が 194 件であった。次いで「旅行業関連」が 47 件であった。

回答元に勤務している従業員・職員数では、「100～499 人」が 113 件で最も多く、次いで「～49 人」が 83 件であった。

主業種



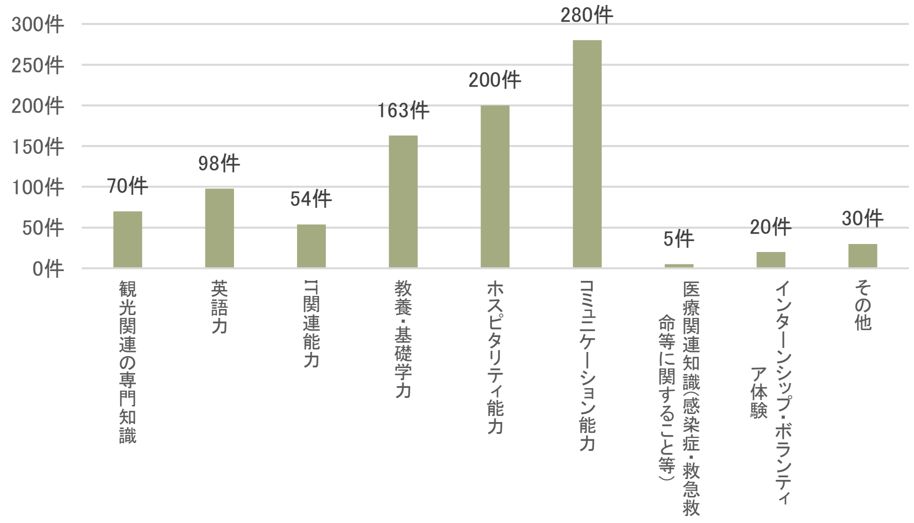
従業員・職員数



３　新卒生を採用する際に求める能力や体験―問４

回答元が新卒生を採用する際に求める能力や体験等について質問したところ、「コミュニケーション能力」が 280 件で最も多く、次いで「ホスピタリティ能力」が 200 件であった。その他、「教養・基礎学力」が 163 件、「英語力」が 98 件であった。

求める能力や体験



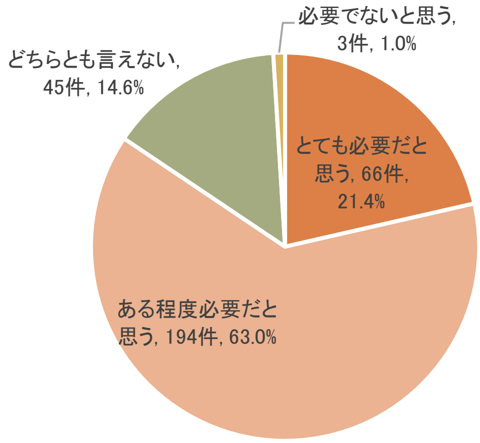
４　学びの専門分野が今後の社会にとって必要な学問分野であるか-問５、６、７、８

観光学部観光学科（仮称）の学びの専門分野について、今後の社会にとって必要な学問分野であるか質問したところ、結果は以下の通りであった。

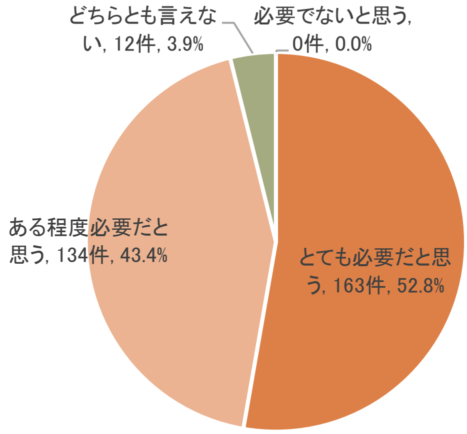
ヘルスツーリズム分野では、「とても必要だと思う」が 66 件、「ある程度必要だと思う」が 194 件で合計 260 件であった。

地域経営（観光に関する地域活性化）分野は、「とても必要だと思う」が 163 件、「ある程度必要だと思う」が 134 件で合計 297 件であった。

ヘルスツーリズム分野



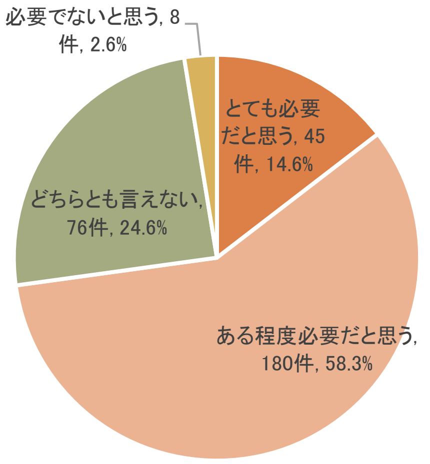
地域経営（観光に関する地域活性化）分野



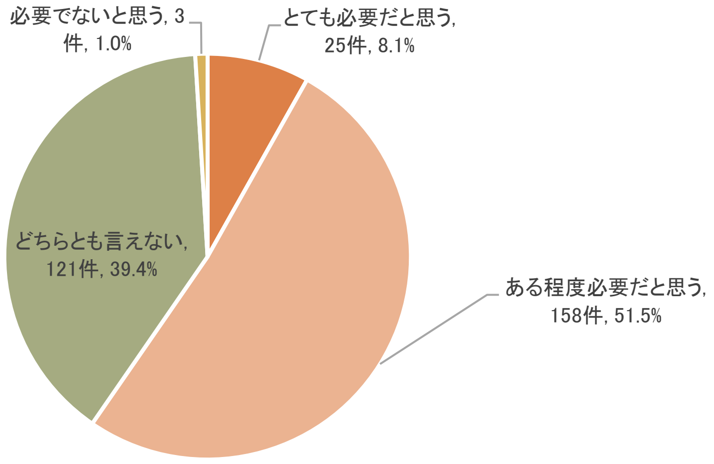
ホテル・ブライダル分野では、「とても必要だと思う」が 45 件、「ある程度必要だと思う」が 180 件であり、合計すると 225 件であった。

エアライン分野では、「とても必要だと思う」が 25 件、「ある程度必要だと思う」が 158 件であり、合計すると 183 件であった。

ホテル・ブライダル分野



エアライン分野

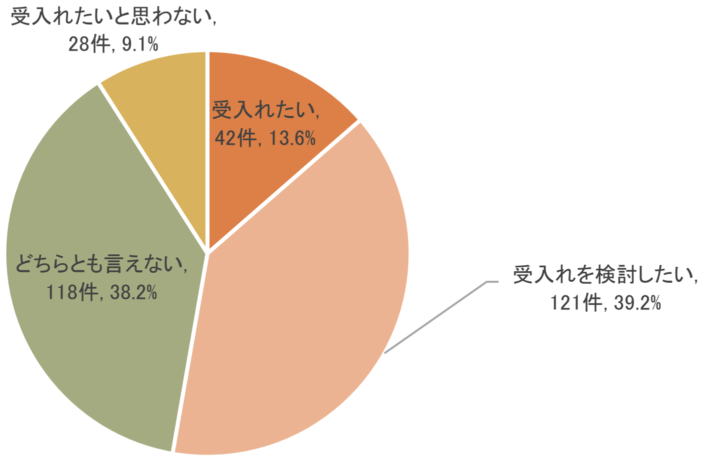


各分野の内容が今後の社会にとって必要となる学問分野であると、ヘルスツーリズム分野は回答元全体の 84.0%、地域経営（観光に関する地域活性化）分野は 94.8%、ホテル・ブライダル分野は 72.6%、エアライン分野は 59.0%が回答した。

5　インターシップの受け入れ−問９

回答元に、宝塚医療大学観光学部観光学科（仮称）で学ぶ学生について、インターンシップで受け入れても良いかと確認したところ、学生を「受入れたい」が 42 件、「受入れを検討したい」が 121 件であった。合計すると回答元の 52.6％が、観光学部観光学科（仮称）の学生をインターシップで受け入れる意向を示した。

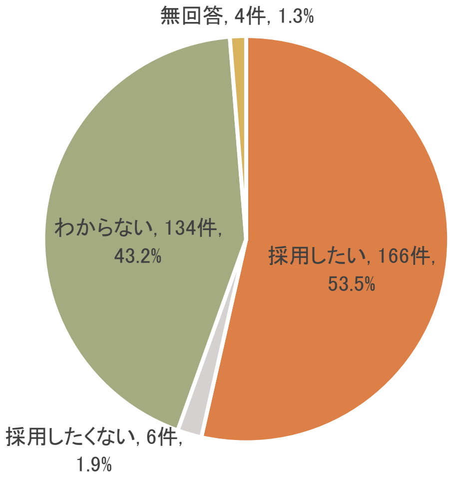
インターシップの受け入れ



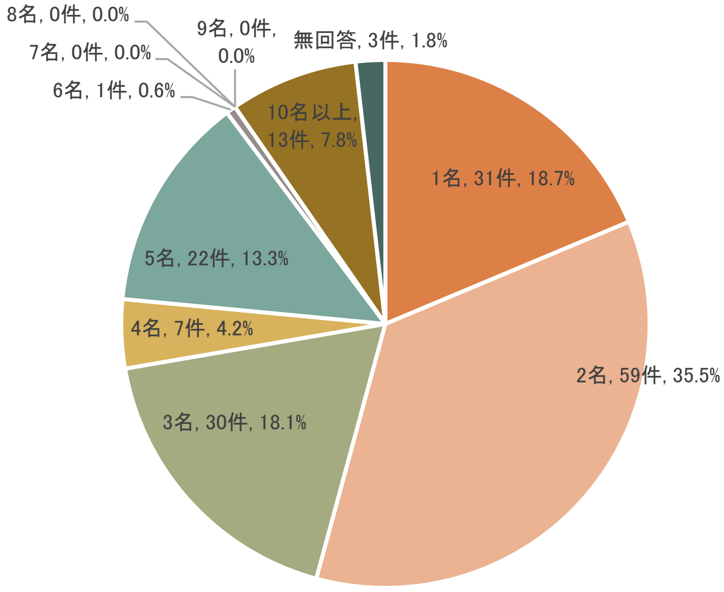
6　観光学部観光学科（仮称）の卒業生の採用意向　−問１１、１２

宝塚医療大学観光学部観光学科（仮称）を学んだ人材の採用意向について質問したところ、「採用したい」が 166 件であった。この 166 件に対し、現時点で採用可能と思われる人数について質問したところ、人数合計は 513 人であった。

採用意向



採用可能人数



全体集計結果

※パーセンテージはいずれも、小数点第２位を四捨五入し記載。

問１　貴社・貴機関・貴団体の所在地（本社・主たる事業所のある地域）をお答えください。

選択肢	回答件数	構成比
北海道	16	5.2%
青森県	5	1.6%
岩手県	5	1.6%
宮城県	6	1.9%
秋田県	3	1.0%
山形県	2	0.6%
福島県	3	1.0%
茨城県	5	1.6%
栃木県	3	1.0%
群馬県	9	2.9%
埼玉県	3	1.0%
千葉県	12	3.9%
東京都	43	13.9%
神奈川県	8	2.6%
新潟県	15	4.8%
富山県	3	1.0%
石川県	4	1.3%
福井県	11	3.5%
山梨県	1	0.3%
長野県	8	2.6%
岐阜県	3	1.0%
静岡県	15	4.8%
愛知県	6	1.9%
三重県	2	0.6%
滋賀県	1	0.3%
京都府	9	2.9%
大阪府	13	4.2%
兵庫県	15	4.8%
奈良県	3	1.0%
和歌山県	2	0.6%

鳥取県	3	1.0%
島根県	2	0.6%
岡山県	5	1.6%
広島県	11	3.5%
山口県	4	1.3%
徳島県	2	0.6%
香川県	4	1.3%
愛媛県	5	1.6%
高知県	2	0.6%
福岡県	7	2.3%
佐賀県	2	0.6%
長崎県	3	1.0%
熊本県	4	1.3%
大分県	3	1.0%
宮崎県	4	1.3%
鹿児島県	6	1.9%
沖縄県	9	2.9%
海外	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	310	100.0%

問２　貴社・貴機関・貴団体の主業種をお答えください。（あてはまるもの１つにマーク）

選択肢	回答件数	構成比
ホテル関連	194	62.6%
航空・空港業関連	4	1.3%
イベント業関連	2	0.6%
ブライダル業関連	5	1.6%
旅行業関連	47	15.2%
観光協会	17	5.5%
自治体（観光関連分野）	13	4.2%
その他	20	6.5%
無回答	8	2.6%
合計	310	100.0%

問３　貴社・貴機関・貴団体の従業員数あるいは職員数の規模をお答えください。（あてはまるもの１つにマーク）

選択肢	回答件数	構成比
～49 人	83	26.8%
50～99 人	61	19.7%
100～499 人	116	37.4%
500～999 人	22	7.1%
1,000～4,999 人	24	7.7%
5,000 人以上	4	1.3%
無回答	0	0.0%
合計	310	100.0%

問４　新卒生を採用する際に、求める能力や体験等をお答えください。（あてはまるものすべてにマーク）

選択肢	回答件数	回答率
観光関連の専門知識	70	22.6%
英語力	98	31.6%
IT 関連能力	54	17.4%
教養・基礎学力	163	52.6%
ホスピタリティ能力	200	64.5%
コミュニケーション能力	280	90.3%
医療関連知識（感染症・救急救命等に関すること等）	5	1.6%
インターンシップ・ボランティア体験	20	6.5%
その他	30	9.7%

※複数選択質問のため、回答率は述べ。

問５　ヘルスツーリズムに関する学習は、今後の社会にとって必要な学問分野であると思われますか。

選択肢	回答件数	構成比
とても必要だと思う	66	21.3%
ある程度必要だと思う	194	62.6%
どちらとも言えない	45	14.5%
必要でないと思う	3	1.0%
無回答	2	0.6%
合計	310	100.0%

問６　地域経営（観光に関する地域活性化）に関する学習は、今後の社会にとって必要な学問分野であると思われますか。

選択肢	回答件数	構成比
とても必要だと思う	163	52.6%
ある程度必要だと思う	134	43.2%
どちらとも言えない	12	3.9%
必要でないと思う	0	0.0%
無回答	1	0.3%
合計	310	100.0%

問７　ホテル・ブライダルに関する学習は、今後の社会にとって必要な学問分野であると思われますか。

選択肢	回答件数	構成比
とても必要だと思う	45	14.5%
ある程度必要だと思う	180	58.1%
どちらとも言えない	76	24.5%
必要でないと思う	8	2.6%
無回答	1	0.3%
合計	310	100.0%

問８　エアラインに関する学習は、今後の社会にとって必要な学問分野であると思われますか。

選択肢	回答件数	構成比
とても必要だと思う	25	8.1%
ある程度必要だと思う	158	51.0%
どちらとも言えない	121	39.0%
必要でないと思う	3	1.0%
無回答	3	1.0%
合計	310	100.0%

問９　本学観光学部 観光学科（仮称）で学ぶ学生について、インターンシップで受入れてもよいと思いますか。（あてはまるもの１つにマーク）

選択肢	回答件数	構成比
受入れたい	42	13.5%
受入れを検討したい	121	39.0%
どちらとも言えない	118	38.1%
受入れたいと思わない	28	9.0%
無回答	1	0.3%
合計	310	100.0%

問 10 は、記述質問のため 18 ページに掲載。

問 11　本学観光学部 観光学科（仮称）で学んだ人材を採用したいと思われますか。（あてはまるもの１つにマーク）

選択肢	回答件数	構成比
採用したい	166	53.5%
採用したくない	6	1.9%
わからない	134	43.2%
無回答	4	1.3%
合計	310	100.0%

問 12 は、問 11 で「採用したい」と回答された者が回答対象である。

問 12　現時点で採用可能と思われる人数をお答えください。（あてはまるもの１つにマーク）

選択肢	回答件数	構成比
1 名	31	18.7%
2 名	59	35.5%
3 名	30	18.1%
4 名	7	4.2%
5 名	22	13.3%
6 名	1	0.6%
7 名	0	0.0%
8 名	0	0.0%
9 名	0	0.0%
10 名以上	13	7.8%
無回答	3	1.8%
合計	166	100.0%

問 13 は記述設問のため、21 ページに記載。
以下は、記述質問の回答である。原文ママで掲載する。

問１０　インターンシップを受入れる場合に必要とされる能力があればご記入ください。

あいさつ
インターンシップは行っていない
インターンシップは実施しておりません。
おもてなしを提供する気持ち 仲間を大切に協力する姿勢
コミュニケーション
コミュニケーション、ホスピタリティ、接遇、根気
コミュニケーションがとれる、積極性のある、などの能力
コミュニケーションの取れる方
コミュニケーション能力
コミュニケーション能力、PC 操作
コミュニケーション能力、基礎教養
コミュニケーション能力、業界に関する基礎知識など
コミュニケーション能力、向上心
コミュニケーション能力と教養、人柄、活力
コミュニケーション能力と挑戦意欲
コミュニケーション能力は必須です。
コミュニケーション力
コミュニケーション力（接客、商社、仕入れ等に興味をお持ちの方）
ホスピタリティ 地域の素材を活かした地域活性（地域デザイン）に興味があること
ホスピタリティ、コミュニケーション
ホスピタリティとコミュニケーション能力、一般常識。 専門的なことは後でいくらでも学べます。
ホスピタリティ精神
ホスピタリティ能力、積極性 コミュニケーション能力、前向きに物事に取り組める
ホテルで働くマインドセット
やる気　素直さ
やる気、清潔感、素直さ、おもてなしの心
やる気が見えるかどうか
挨拶、身だしなみが整っていること。コミュニケーション能力。

一般常識
飲食、サービス業等の実務（アルバイト）経験があると尚良い
英会話能力
学ぶ姿勢、観光地域づくりへの関心
学ぼうとする意欲
基礎学力（計算能力）とコミュニケーション能力
協調性が必要です。 小さな会社ですが多岐にわたっての業務がありますので。
協調性とコミュニケーション能力
業界と地域に興味があるかどうか
元気と笑顔
元気な挨拶（従業員、お客様）に対して
現場を体験する意欲
最低限の PC スキル　一般常識
最低限のマナー
参画意識
自ら考え、自ら行動する”自分力”
自分で考え、自分で行動する力
社会人に求められる基本的マナー
主体性、能動性、積極性
笑顔とサービスマインドがあれば充分です。
身だしなみ、接客に対する基礎能力
積極性
積極性、素直さ、気力、創造性、柔軟性
積極性、挑戦意欲
積極性であったり、楽しみながら物事に取り組めること（能力）も重要だと感じます。
積極性やコミュニケーションを取ろうとする意欲
積極性やコミュニケーション能力
積極性や自発性
接客スキル
前向きな姿勢
素直さ、コミュニケーション能力
相手が欲することを感じ取り行動する力、コミュニケーション能力
聴く力、コミュニケーション力
能動性、やる気
発言力、ベビー用品業界への興味

必須ではありませんが最低限の観光関連の専門知識があるとなお良いです。
明るく、元気で、礼儀正しいこと
理解力、向上心
旅行業界への関心があれば、スキルは問いません。
旅行者の心理を理解する能力、スマホ、タブレットの活用能力、コミュニケーション能力、スーツケース、旅行鞄に関する知識
礼儀、マナー

問１３　本学観光学部 観光学科（仮称）に対して期待される点やご要望がありましたらご自由にご記入ください。

・グローバルな視点を意識できる人材育成 ・観光と他産業とのつながりを意識した学び
IT に精通していて、かつ観光業界で活躍が期待できる人材育成を望みます。
この度はご連絡ありがとうございます。 今回、観光分野の学生さんに興味を持った理由は、他校ではありますが同分野の学生を採用したことにあります。 この学びをした学生の印象として、行動力、明るさ、コミュニケーション力、特にお客様を思いやるホスピタリティが優れていると感じました。 貴校でこの分野ができた際には、ぜひ学生さんとお話できたらと思います！ よろしくお願い致します。
コミュニケーション能力が最優先
これからのインバウンド等を見越した新しい観光分野に柔軟に対応できる人材を育てて欲しい。
これからは日本は観光立国を目指していかなければならないので、観光客を迎え入れるため全般的な教養をつけていただけることを期待しています。
コロナで疲弊した観光業界に活気を持ち込んでいただきたい。 まだまだアナログで古い体質の本業界に Z 世代以降の方々で新しい仕事の仕方を考えてほしい。
どこの地域においても観光業は大切な職種だと思います。 たくさんの人材輩出を期待しております。
ホスピタリティを学ぶ中でホテルと旅館の違う部分も研修を通じて学んでもらいたい。
リゾート知の仕事に興味を持っていただき、斑尾の活性化にも力を注いでいただける方をお願いしたいです。
外国語能力、AI 知識があった方が就職活動に優位だと思います。
観光による地域活性化について、学びの成果を期待しています。
観光に興味をもって下さる皆様を是非採用させて頂きたいです。
観光のエキスパート育成に大いに期待します。
観光の仕事は、人とのコミュニケーションをしなければできない仕事です。 その事を理解してほしい。
観光は日本の重要な産業であり、AI に取って代われない仕事です。 また「おもてなし」は日本の文化であり、ホスピタリティを育む教育に期待します。
観光も我が国を盛り立て支える財産、資源ですので、新たな時代の観光を若い方たちにリードして頂きたいです。 大変期待しています。
観光学科で学んでいる学生様とご縁があると嬉しいです。 今後ともよろしくお願いいたします。
観光学科を専攻される学生との接点（地域の観光発掘など）

観光学部で育成される能力は既存の観光関連産業のみならず、娯楽業やレジャー産業など他産業での活躍も大いに期待できるかと思います。 是非、広い視野で学ばれることを期待致します。
観光学部観光学科、毎年継続して採用してほしい。 企業や採用人数が多い年など入学生が 30 名程度になった場合採用率が悪くなるため（毎年 100 名を継続）
観光業界やホテルで働きたいという人材は、積極的に採用したい。
宮古島に興味を持って、宮古島で働く若い世代が増えることを期待いたします。
業界全体を担う人材を育成してください。
航空や旅行業界で活躍できる人材の育成
高校卒業後に貴校へ進学、U ターンで地元就職というラインができるとありがたい
今後、より観光立国が重視されると思うので、その分野での人材育成は必要だと思われる。
今後のホテル、旅館の未来を担う人材育成
今後の社会発展のための人材育成をよろしくお願いいたします。 （レジャーサービス業界）
自然や地域との関わり方は、これからの観光業にとってとても重要であると考えます。 場所の利を活かした（SDGs など）他とは違う、または一歩進んだ観光業を学んでいただきたいと思います。
実践的能力は大切だと感じます。 東京都にある会社が兵庫にある大学の学生とインターン等で関係が作れるような仕組みがあれば面白いです。
社会経験をある程度体験できるような学校になると良いと思います。
社内見学も随時行っておりますので、ご希望の学生、先生がいらっしゃいましたらなんなりとお問い合わせください。
将来を考えて、卒業後にどうなりたいかを思い描きながら自発的に行動していけるような人材を期待しております。
常識のある学生に育てていただきたい
人手が足りない
人手不足が深刻化している観光業ですが、宝塚医療大学の観光学科の学生の方々は今後輝く期待の星だと思います。沢山学び経験し未来の観光業界を担っていって下さい。
全国的にホテル関連では人材不足となっており、少しでも多くホテル業界への就職希望者が現れることを願っております。
即戦力となり得る人材育成に期待したい。
卒業生が出る 2027、2028 年の旅行業を取り巻く環境がどうなっているのか全く読めませんが頑張っていただきたいと思います。
知識に加え、チャレンジ精神あふれる人、地域や人々と同じ目線で主体的に行動できる人材の育成をお願いしたい
地域一帯となって若者や学生を育て、宮古島をさらに発展させるために共に活動させていただきたいです。
地域経営学関連に期待したい
地方の観光の良さや衰退している原因について興味を持ってこれからの集客につながる提案をしてくれる事

地方公共団体として「観光」の採用区分は設けておらず、専門職として直接の採用予定はありませんが、本県における地域の観光振興を支える人材の確保に向けては、貴学による人材育成に期待しております。
地方創生について考えてほしい。
通常の観光学科卒なら、それほど役に立たない、即戦力にもなりません。 観光+α、貴校のような観光+医療の人材を育てれば採用するかもしれません。 医療にかかわる時代になりそうで、期待しています。
定期採用を行っていないため 0 名
当社エリアとのつながりは弱い土地ですが、オンラインでの販売形態や DX の活用等、時代に合った観光業のあり方について実践できる人材の輩出を期待します。
当社は旅館業になります。「人が好き」という人材を募集いたします。
日本にとって重要なことだと思います。
弊社はまだインターンシップの実施をしておりませんが、今後行っていきたいと思っております。 観光業が主体の企業ではありませんが、ベビー用品の興味がある学生の方がおられましたら是非興味を持って頂けますと幸いです。何卒よろしくお願いいたします。
弊社はメディカルツーリズム分野で始めたばかりで実感がなく大きな事は言えませんが、学ぶ力を持ち良く生きる事を考える力を持つ人がよい手配者になっていけると考えております。 自律性をもった人材を輩出して下さい。
旅行業で本当に働きたいかどうか、本人の気持ちが大切
例年 10 名前後の大学生を採用しています。 ホスピタリティ溢れる人材に出会えたら嬉しく思います。

【資料】宝塚医療大学　観光学部観光学科（仮称）アンケート調査用紙

宝塚医療大学
観光学部 観光学科（仮称・設置構想中）

設置構想についての人材需要アンケート調査
（対象：人事・採用ご担当者様）

宝塚医療大学（兵庫県宝塚市）は、2024（令和6）年4月に観光学部 観光学科（仮称）の設置を構想しています。本学ではこのアンケート調査を通して、将来卒業生の採用をご検討いただく皆様からご意見を賜り、広く社会に貢献できる人材の輩出を行って参りたいと考えております。本アンケートで得た情報は、宝塚医療大学「観光学部 観光学科（仮称）」設置構想に係る統計資料としてのみ活用いたします。

アンケート調査へのご協力をよろしくお願いいたします。

※このアンケート調査は宝塚医療大学から委託された第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）が実施しています。

【アンケート記入にあたっての注意事項】

・記入は必ず黒鉛のシャープペンシル、または黒鉛筆を使用し、訂正する場合は、消しゴムできれいに消してください。

・解答用紙（マークシート）を汚したり、折り曲げたりしないでください。

正しい回答のように丁寧に塗りつぶしてください。誤った回答の場合、正確に読み込めず判断できない場合があります。

問１ 貴社・貴機関・貴団体の所在地（本社・主たる事業所のある地域）をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県
栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県
石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県
滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県
岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県
佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	
海外 [　　　]							

問２ 貴社・貴機関・貴団体の主業種をお答えください。（あてはまるもの１つにマーク）

- ホテル関連
- 航空・空港業関連
- イベント業関連
- ブライダル業関連
- 旅行業関連
- 観光協会
- 自治体（観光関連分野）
- その他 [　　　]

問３ 貴社・貴機関・貴団体の従業員数あるいは職員数の規模をお答えください。（あてはまるもの１つにマーク）

- ～49人
- 50～99人
- 100～499人
- 500～999人
- 1,000～4,999人
- 5,000人以上

問４ 新卒生を採用する際に、求める能力や体験等をお答えください。（あてはまるものすべてにマーク）

- ホスピタリティ能力
- 教養・基礎学力
- 英語力
- IT関連能力
- コミュニケーション能力
- 医療関連知識（感染症・救急救命等に関すること等）
- 観光関連の専門知識
- インターンシップ・ボランティア体験
- その他

※以降は宝塚医療大学 観光学部 観光学科（仮称）概要をご覧の上お答えください。

本アンケート調査用紙に印刷されているQRコードは集計時に使用するものです。個人の特定を目的とするものではありません。

問５～８は、観光学部 観光学科（仮称）における主な学習分野についてお尋ねします。

問５ ヘルスツーリズムに関する学習は、今後の社会にとって必要な学問分野であると思われますか。

⬯ とても必要だと思う　⬯ ある程度必要だと思う　⬯ どちらとも言えない　⬯ 必要でないと思う

問６ エアラインに関する学習は、今後の社会にとって必要な学問分野であると思われますか。

⬯ とても必要だと思う　⬯ ある程度必要だと思う　⬯ どちらとも言えない　⬯ 必要でないと思う

問７ 地域経営（観光に関する地域活性化）に関する学習は、今後の社会にとって必要な学問分野であると思われますか。

⬯ とても必要だと思う　⬯ ある程度必要だと思う　⬯ どちらとも言えない　⬯ 必要でないと思う

問８ ホテル・ブライダルに関する学習は、今後の社会にとって必要な学問分野であると思われますか。

⬯ とても必要だと思う　⬯ ある程度必要だと思う　⬯ どちらとも言えない　⬯ 必要でないと思う

問９ 本学観光学部 観光学科（仮称）で学ぶ学生について、インターンシップで受入れてもよいと思いますか。（あてはまるもの１つにマーク）

⬯ 受入れたい [　　　　]　⬯ 受入れを検討したい
⬯ どちらとも言えない　⬯ 受入れたいと思わない

問 10 インターンシップを受入れる場合に必要とされる能力があればご記入ください。

[　　　　　　　　]

問 11 本学観光学部 観光学科（仮称）で学んだ人材を採用したいと思われますか。（あてはまるもの１つにマーク）

⬯ 採用したい　⬯ 採用したくない　⬯ わからない

※問12は、問11で「採用したい」を選択した方のみ回答してください。

問 12 現時点で採用可能と思われる人数をお答えください。（あてはまるもの１つにマーク）

⬯ 1名　⬯ 2名　⬯ 3名　⬯ 4名　⬯ 5名　⬯ 6名　⬯ 7名　⬯ 8名　⬯ 9名　⬯ 10名以上

問 13 本学観光学部 観光学科（仮称）に対して期待される点やご要望がありましたらご自由にご記入ください。

[　　　　　　　　]

質問は以上となります。ご協力いただき、ありがとうございました。

本アンケート調査用紙に印刷されている
QRコードは集計時に使用するものです。
個人の特定を目的とするものではありません。

【資料】宝塚医療大学　観光学部観光学科（仮称）概要

観光は、これからの日本社会をけん引する成長産業　時代が求める新しい観光のエキスパートを育成

宝塚医療大学 観光学部 観光学科 仮称/設置構想中

学部の概要

開設場所	1年次：宮古島市（沖縄県）／全寮制※宮古島市出身の学生は除く 2年次以降：尼崎市（兵庫県）
開設時期	2024（令和6）年4月
修業年限	４年
取得学位	学士(観光学)
入学定員	100名（収容定員400名）

宮古島市は日本屈指の観光産業の集積地

宮古島から伊良部大橋と伊良部島を望む

育成する能力と対応するカリキュラム

① 実践的で高い英語力の育成

- 充実した英語カリキュラム（１年次の宮古島キャンパスで集中教育）
- 宮古島キャンパスでは、2名のネイティブスピーカー教員による指導
- 短期・中長期の海外留学（海外連携大学 等）も可能

② 情報処理能力やデータサイエンス・AIに関する知識技術の育成

- 入学前教育も含め、全員が高い情報リテラシーを獲得
- そのうえでデータサイエンスおよびAIに関する教育を実施

③ ホスピタリティー精神にあふれたコミュニケーション能力の育成

- コミュニケーションの基盤である教養教育を重視したカリキュラム
- 宮古島の学生寮での集団生活においてもホスピタリティー精神の育成を重視

④ 感染症など医療分野の知識・技術を教育

- これからの観光専門職には、感染症など医療分野の知識・技術は不可欠
- 宝塚医療大学のノウハウを活かしたカリキュラムを構築

⑤ 充実したインターンシップによる実践的能力の育成

- １年次は宮古島市内の多様な観光関係企業や機関での短期インターンシップ
- ２年次以降は、各希望分野、進路に応じた主要観光産業での中長期インターンシップ

⑥ 重点的に学べる専門分野（科目群）

ヘルスツーリズム ｜ 地域経営（観光による地域活性化）｜ ホテル・ブライダル ｜ エアライン

◆卒業後の進路

観光学部 観光学科（仮称）の学生の卒業後の進路先は、
旅行会社、ホテル、航空会社、空港、観光協会、クルージング会社など観光やホスピタリティー関連の企業等
への就職を想定しています。

◆宮古島の学生寮

１年次は、宮古島キャンパス内にある新しい学生寮で生活をします。
※宮古島市出身の学生は除く

- 教室まで徒歩1分
- 寮室は全室個室（トイレ、シャワーを含む）
- 各フロア（３階建）には広いコモンスペース有り
  –コモンスペースにはキッチンもあり、自分達で島の食材を使った調理も出来ます。
- 全館wi-fi完備

学生寮完成イメージ

※上記は構想中の内容のため、変更する場合があります。

初年度納付金（近隣大学との比較）

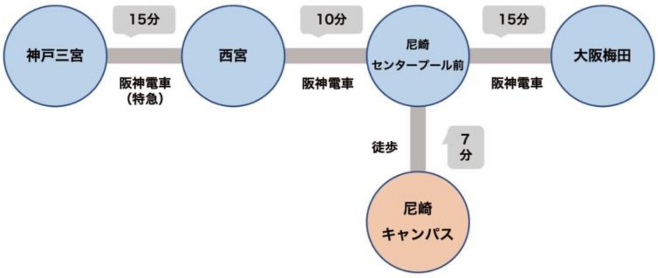
大学名	学部・学科名	所在地	入学金	授業料	その他※	１年次納入金（計）
宝塚医療大学	**観光学部 観光学科（仮称）**	**沖縄県 宮古島市 兵庫県 尼崎市**	**300,000円**	**1,100,000円**	**ー**	**1,400,000円**
関西国際大学	国際コミュニケーション学部 観光学科	兵庫県神戸市	300,000円	857,000円	302,000円	1,459,000円
阪南大学	国際観光学部 国際観光学科	大阪府松原市	210,000円	800,000円	280,000円	1,290,000円
平安女学院大学	国際観光学部 国際観光学科	京都府京都市	250,000円	980,000円	170,000円	1,400,000円
大阪観光大学	観光学部 観光学科	大阪府泉南郡	300,000円	650,000円	380,000円	1,330,000円
大阪成蹊大学	国際観光学部 国際観光学科	大阪府大阪市	250,000円	963,000円	197,000円	1,410,000円

＜注＞その他※：教育充実費、施設費などを含みます。また、本表からは諸経費は除きます。
＜出典＞各大学ホームページ（2022年9月現在）

アクセス

1年次：宮古島キャンパス（沖縄県宮古島市城辺字福里616）

２年次以降：尼崎キャンパス（兵庫県尼崎市道意町６丁目６−３）



宝塚医療大学
TUMH
TAKARAZUKA UNIVERSITY of MEDICAL and HEALTH CARE
〒666-0162　兵庫県宝塚市花屋敷緑ガ丘1
TEL　072-736-8600　FAX　072-736-8659
HP　https://www.tumh.ac.jp/

＼Instaglam／

＼twitter／

※上記は構想中の内容のため、変更する場合があります。